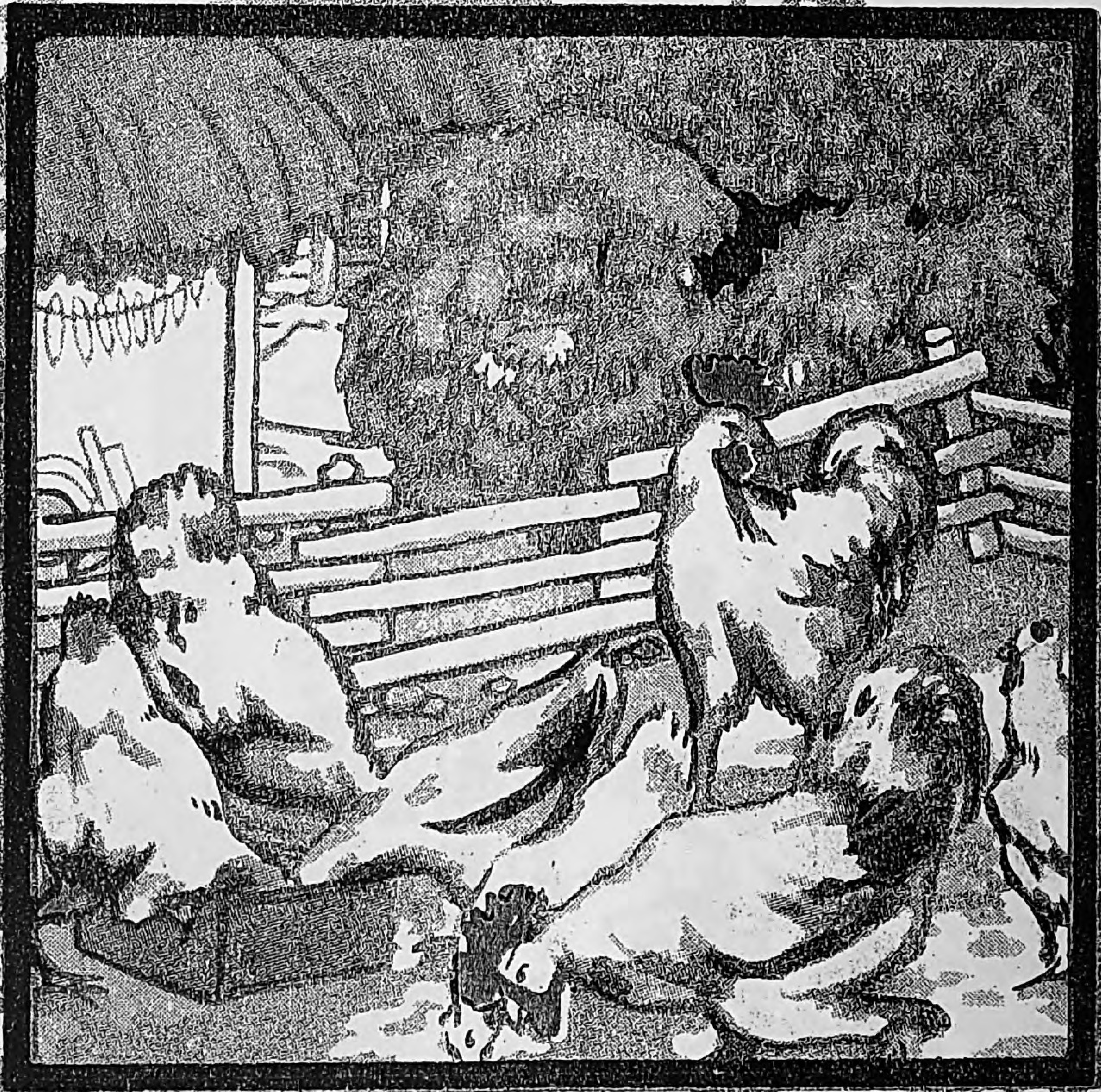
處女の友

4巻9号

第四巻　九月　第九號

大正十年八月廿七日印刷納本　大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年九月一日發行（毎月一回一日發行）

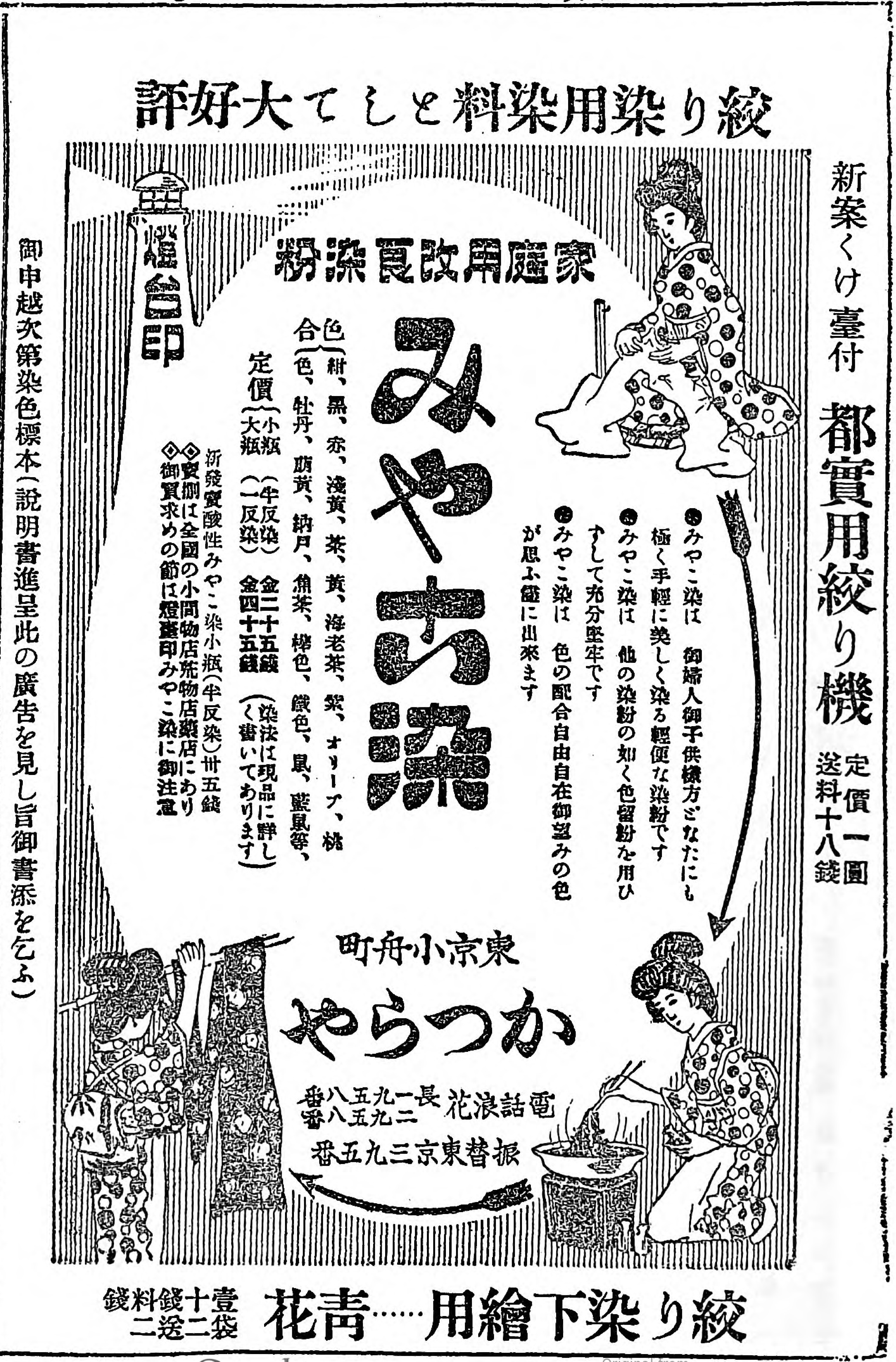


處女會中央部發行

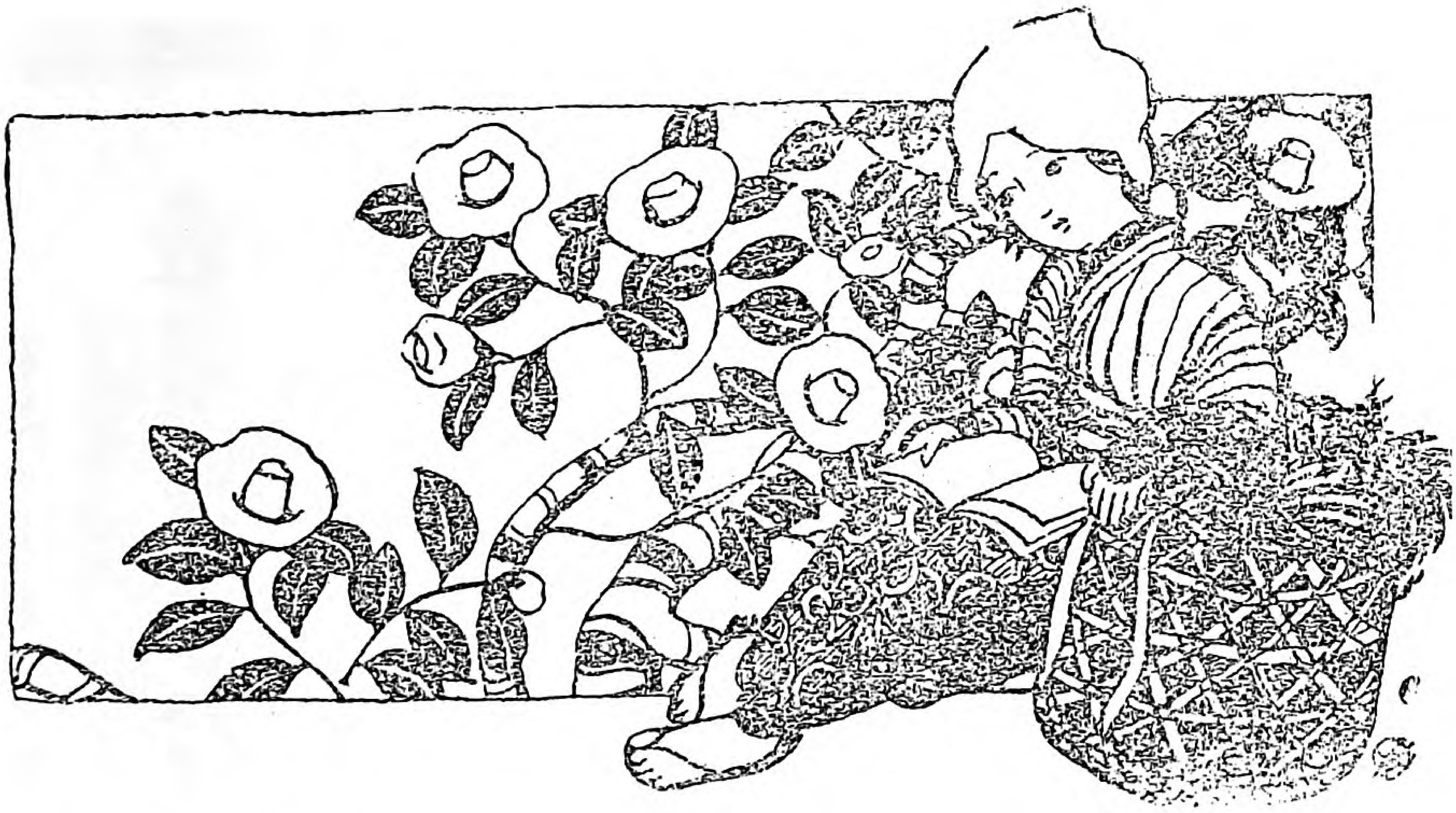
Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の女の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○



絞り染用染料として大好評
新案くけ臺付
都實用絞り機
定價一圓
送料十八錢
燈臺印
家庭用改良染粉
みやこ染
●みやこ染は 御婦人御子供様方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です
●みやこ染は 他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です
●みやこ染は 色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます
色合（紺、黒、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萠黄、納戸、鶯茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、
定價（小瓶（半反染）金二十五錢 大瓶（一反染）金四十五錢）（染法は現品に詳しく書いてあります）
新發賣酸性みやこ染小瓶（半反染）卅五錢
◎賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり
◎御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意
御申越次第染色標本（説明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）
東京小舟町
かつらや
電話浪花 長一九五八番 二九五八番
振替東京三九五番
絞り染下繪用……青花 壹袋十二錢 送料二錢

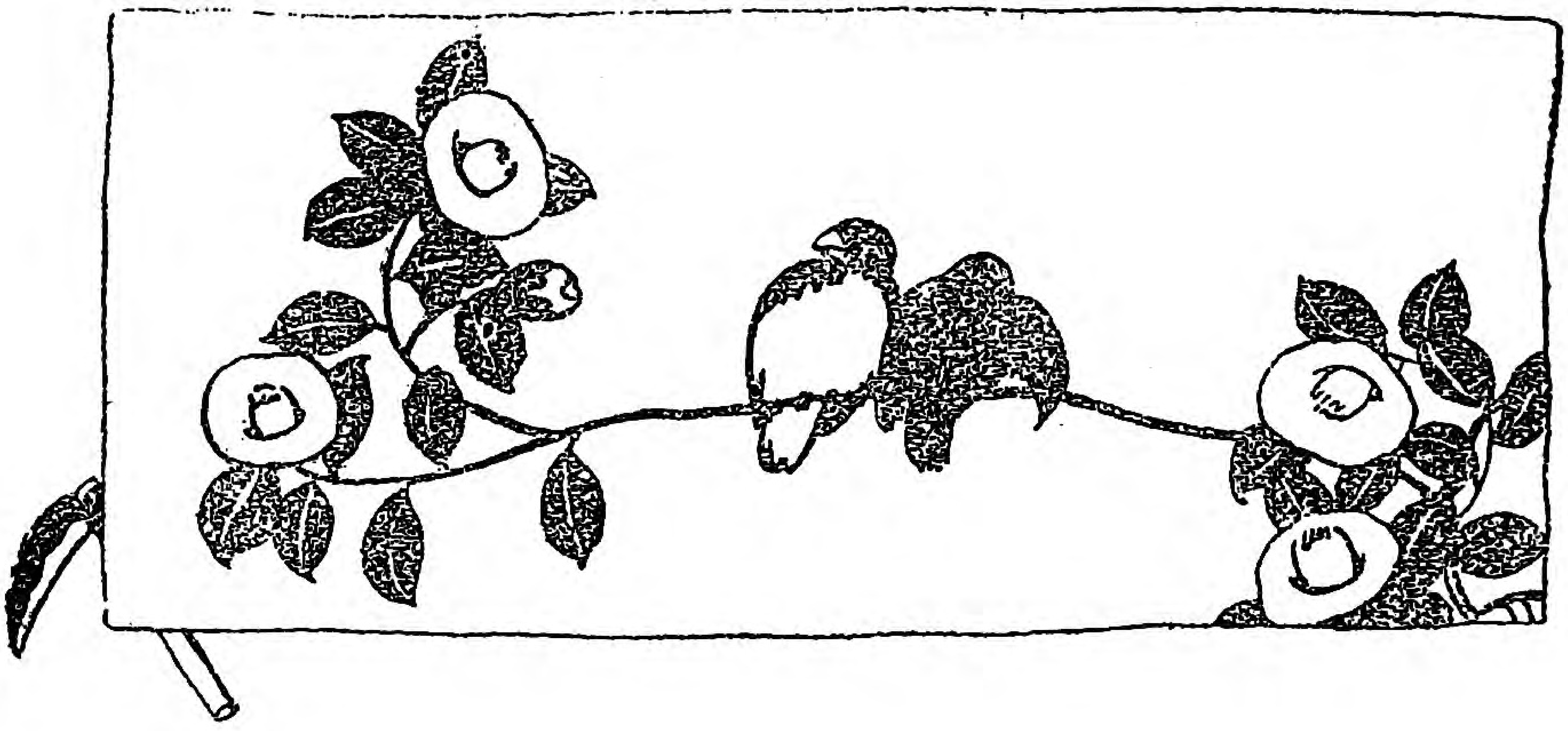


處女の友　大正十年九月號　目次

○表紙　平和の村……田代柴光筆
○口繪　貴き處女の働き

◎記　事◎

◎卷頭（苦勞の後の樂み）……一
△處女會指導者講習會要項……二
△成功の秘訣……處女會中央部理事　山脇房子……四
△事實婚と形式婚……帝國大學敎授 法學博士　穗積重遠……七
△人に關する金言……
△今の娘さんと昔の娘さん……東京府立第一高等女學校長　市川源三……一二
△衣服の整理……處女會中央部理事　甫守ふみ子……一五



△蜘蛛の働き……一八
△海の智識……海軍軍醫大尉 堤 皞……二〇
△我國有名な高山……二三
△誤り易き文字……二四
△九月(ながつき)……二四
△南米移住の少女より……二六
△女と美と心……天野清子……二八
△姉と妹……青山……三一
△豆腐賣をした女學生……松崎ひろの……三九
△覺え書き……四三
△農民の味方……四四
△地方通信……四五
△懸賞工夫文……四八
△處女文壇……四九
△處女歌壇……五〇
△處女俳壇……六〇
△誌友くらぶ……五四
△編輯だより……六一
△考へ物……六一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

簞笥、長持
御婚禮用具　調製

東京市內製造業者直營

中央簞笥工販賣所

電話淺草三〇三四番

弊所は淺草駒形町停留所前にて電車(乘り降り)も御便利に御座候觀音へ御參詣之節は御買上の有無に拘はらず是非〳〵當陳列所へ御立寄被下製造品各種御高覧の上にて他店製品と比較御高評を願上候

但御注文品市內無料配達いたします

地方へ御送品類は入念荷作りいたします

荷造及送賃は實費申受けます

文學博士 芳賀矢一校閲
内務省囑託 處女會中央部理事 天野藤男著
（最新刊）

大正處女新讀本

和綴菊判
全二冊（上卷）（下卷）各冊定價金六拾五錢 各書留送料金十一錢

歐洲大戰後國内萬般改造改良或は覺醒に伴ひ處女會、婦女會の發達普及實に驚くべく到る處此種用種の發行を熱望して止まず處女會中央部理事として專ら教化指導の任に當れる著者は處女教養の理想に適合すべき良教科書のなきを遺憾となし自ら實地教授上に得たる經驗に基き數年間親しく處女の心理趣味を研究透察し材を内外各方面に採り苦心洗練の結果漸く本書の刋行を見るに至れり加之斯界の權威芳賀博士の懇篤なる校閲を經たるものなれば小學校女子補習教育並に一般處女教養上特に理想的の良教科書たる言を俟たず本書出てて初めて現下處女教養上の渴望を滿たすと共に國家公民の品性向上に多大の稗益あるべきを信ず。

本書は處女教養の絶好指針にして小學女子補習學校の模範的唯一の良教科書なり

東京日本橋通壹町目角
振替口座東京二三三八番
電話本局二四〇四・四一四番

大倉書店發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

化粧界の流行兒

萬人向の薄化粧料

ホーカーパノット

塗けた白さに厭味がなく
誰人も手輕に塗けられる

一瓶定價三十五錢

ホーカー液本舖　堀越嘉太郎商店

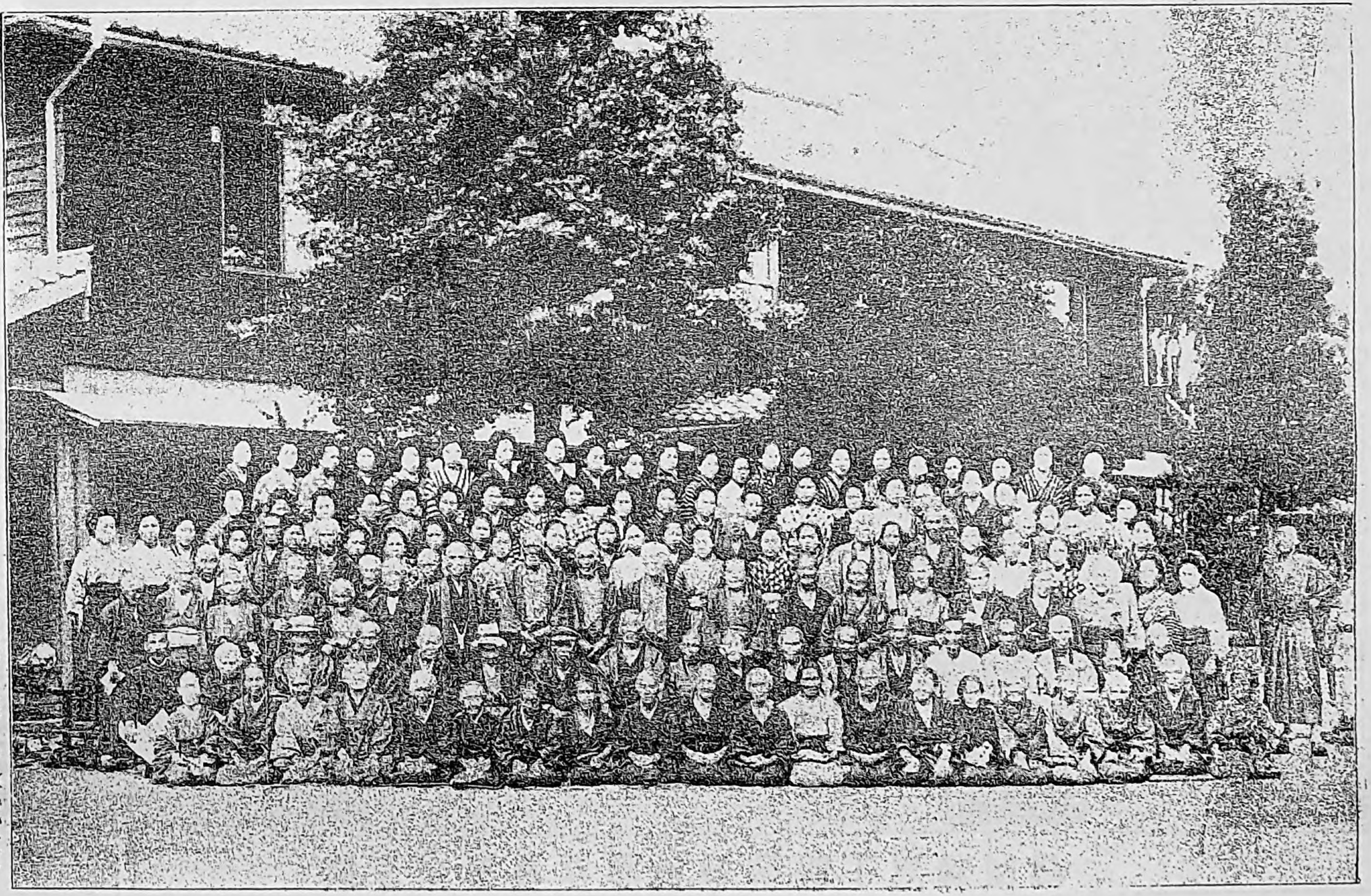
東京神田和泉橋　振替東京一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

靜岡縣富士郡岩松村處女會員の摘茶

「勞働は神聖なり」と申しますが、岩松村の處女たちは老人に一日の慰安を與へたいために茶摘の作業をしてその勞力で賃金を得ました。これは神聖なる勞働の中でも最も貴いものであると思ひます。向つて右より三人目堀內會長

靜岡縣富士郡岩松村の敬老會



老を敬ふといふ事は若い娘さんとして最も大切な事ですが岩松村の娘さん達は一頁の日給にある通りの自分で働いて得た賃金で村の老人を慰められました

とう〳〵と瀧の落ちくる茂りかな

處女の友　九月號

苦勞の後の喜び

暑さが過ぎて始めて涼しさがよろこばれ、寒い冬を經て始めて暖い春の有難味が感謝さるゝものであります。それと同じく、不幸の後の幸福は眞の喜びで、悲しみを經ぬ幸福は眞の幸福でありません。

どんなに他から見た眼に幸福に見えても、其人自身に苦しみの經驗がなくては、其幸福の有難味がわかりません。恰度人形が美しい着物を着せられて居るのと同じで、たとへそれがどんなに美しからうとも、人形自身には少しも感じがないのであります。

人間には天からうけた魂があります。そしてこの魂を育てんがため、天はいろ〳〵の苦しみや喜びを下されます。ですから、眞に人間としての苦しみを味ひ、眞に人間らしい喜びを味ふ事が、本當に天意に從ふ事でありませう。

私共は、暑さが過ぎて涼風に面する時の喜びと同じやうに、苦勞の後の幸福をよろこぶやうにならなければならないと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

第一回全國處女會指導者講習會要項

一、期日　大正十年十月三日より同月八日まで六日間

一、會場　東京市神田區一ツ橋通り帝國教育會內

一、會員　會員ノ選定ハ道廳府縣ニ依囑シ一道廳府縣ニ付五名以內ト定ム
道廳府縣ニテ選定セラレタル會員ノ職名、住所、氏名ヲ九月二十日マデニ報告ヲ受クルコト

一、會費　講習員ハ會費ヲ要セズ但シ旅費宿泊料ハ自辨トス

一、宿舍　各會員選定ノコト但シ中央部へ選定希望ノ方ニ對シテ斡旋ノ勞ヲトルコト

一、講習科目及講師

第一日　處女會につきて　內務書記官　大野綠一郎君
處女と生活改善　日本女子商業學校長　嘉悅孝子
科外講演　內務省社會局長　田子一民君

第二日　處女會と補習教育　文部省事務官　乘杉嘉壽君

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女と修養　三輪田高等女學校長　三輪田元道君

處女會の組織及指導　處女會中央部理事　天野藤男君

科外講演　文部省普通學務局長　赤司鷹一郎君

第三日

婦人問題　成女女學校長　宮田修君

家事　東京女子高等師範學校教授　大江すみ子

歐洲婦人の節制狀況　内閣宮内省兼内務省囑託　國府種德君

第四日

家族制度に就きて　文學博士　井上哲次郎君

處女會の幹部養成　文部省囑託　山本瀧之助君

婦人衞生問題　東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生子

第五日

家事　東京女子高等師範學校教授　甫守ふみ子

科外講演　東京女子高等師範學校長　湯原元一君

視察見學

第六日

性と結婚　醫學博士　永井潛君

科外講演　貴族院議員　北條時敬君

實驗談

第七日

宮城拜觀、新宿御苑其他見學豫定

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

成功の秘訣

本會理事　山脇房子

◎幸福になるには

世に處して參りますには、誰しも幸福であり度いとは、希ふ處でありますが、さて其幸福を得んとするには、如何したら宜しいでせうか。

何人にも可愛がられ、何事にも成功せんとするにはどうしても自らの心掛けが肝心でありまして、幸福は他人の力で作らるべきものではなくすべて皆其人の心一つで作らるゝものでありますから、皆さんに最も大切な七つの事を擧げて、お勸めしたいと思ひます。

◎機敏であれ

機敏とは、仕事をするのに、早く氣をつけて、早く動き、身體に隙がなくぼんやりして居ない事であります。

よく市中などで見かける事でありますが、同じやうに新聞を持つた二人の夕刊賣が立つて居ましても、機敏に立まわつて、買ひさうであると見た人に向つて、熱心に賣り歩く方はどん／＼と新聞が賣れますが、一方の機敏でない者は只徒らに時を過して、又しては機敏な方に先を越されて、一向に賣れないといふやうな事があります。

先んずれば人を制すと申します如く、すべて何の仕事をするのにでも、時と場所とを見て、すばやく動く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

といふ事を忘れてはなりません。

◎忠實

太閤秀吉は賤しい身分から、天下を支配する程の身分になりましたが、秀吉が低い身分の折の勤めぶりが如何にも忠實であつたので、信長に見込まれて、出世の端緒をひらいたのでありませう。主人の草履をとり扱ふにしても、寒中などにはこれを懐に入れて暖めて履かすと云ふやうに決して「好い加減にして置く」やうなことをしなかつたでありませう。云ひかへれば忠實であり眞面目であつた事が秀吉を出世させた原因とも申されませう。

仕事はたゞ言ひつけられたゞけを仕上げるばかりでなく、餘分の仕事も進んで引受け、「つまらないものでも忠實に果して行かう」といふやうな心掛でまめて熱心な人程、人にも愛され自分も幸福になれます。

◎忍耐せよ

忠實に仕事をするには、忍耐、つまりどんな辛い事があつても、ヂッと我慢をして、やり通さなければなりません。

偉い人になるまでには、いろ〱の困難があります そこで氣の弱い人はすぐ困難に負けてしまひますが、我慢強い人は、堪へ忍び難い苦痛を忍んで、遂に偉くなるのであります。明治天皇御製にも

雪に堪へ嵐にたへし後にこそ
松の位も高く見えけれ

とありますが、本當に偉くなるにはどうしても、千辛萬苦の中を切りぬけて、どんな困難にも打勝つだけの勇氣がなければなりません。

◎興味をもて

仕事に興味をもつて致しますと、非常に氣持よく、また早く上達もしますが。つまらない仕事と思つてする人は、毎日自分の仕事が面白くなく、そして上手になる事も出來ません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

仕事を樂しくすれば働いた後も心地よく、仕事の出來榮えも見事で、人にも喜ばれ、從つて身體も自然丈夫になつて、常に幸福な日を送る事が出來ます。

◎正直であれ

世の中で何が幸福といつても、常に自分の心に僞りがなく何時何處に居ても、少しも疚ましい事のない人程幸福な人はありますまい。只僞りを言はない事ばかりでなく、仕事も正直にせねばなりません。ゴマカシの仕事をしたり、怠けたりしないやう、陰日向なく働いて居ますれば、何時何人に見られても恐ろしい事もなく、恥づかしい事もなく、心が非常に愉快であります。

◎快活であれ

仕事をするにも、家に居る時でも、陰氣ではなりません。愛想よくはき／＼と元氣に立働く事が一番大切です。自分も快く、人にもよい氣持を與へるといふ事は人として廣い社會に立つて行くには最も忘れてならぬ事でありますが、それにはどうしても快活でなければなりません。

「あの方の側に居ると何となく心が樂しく愉快である」と人に思はれるやうなれば、其人は必ず自分自身も幸福で居られるといふ譯であります。

◎讀書せよ

人は萬物の長と貴ばれますが、どうして人はそんなに貴いのでありませう。人には他の動物に勝れた智識があるからであります。この智識によつて、すべての道德すべての美しい行ひも出てくるのでありまして、その智識の源となるものは、文字を知り、讀書をするといふ事であります。それゆゑ少しでも暇があつたら讀書して、立派な人となるべき道を學び、智慧を磨いて、自分の足りない所を補つて行かねばなりません。「農家に生れた娘は百姓さへ出來ればよい書物など讀む必要はない」とか「忙がしくて書物を讀んで居る暇がない」などゝいつて、自分の智識をみがき身を修める事を忘れてはならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

事實婚と法律婚

東京大學敎授
法學博士　穗積重遠

回婚禮の儀式と婚姻屆

婚姻といふことは、勿論事實關係でありますが、社會の秩序を保つ爲めに、法律上其關係を確定しなければならないのであります。

そこで我國の法律民法では、戶籍役場に屆出をする事によつて、婚姻關係が法律上認められる事になつて居りまして、夫婦になるには婚姻屆、夫婦でなくなるには、離婚屆をせねばならぬことになつて居ます。

西洋諸國でも大體さうでありまして、國によつては敎會で結婚をしたゞけで、法律上も婚姻が成立つものとして居る國もありますが、多くは敎會で式を行ふと否とを問はず、役場等で法律上の手續をしなければ法律上の婚姻は成り立たぬことになつて居ます。

而して多くの國では丁度我國で死亡屆が濟まぬ內は葬式が出來ぬと同じ様に、法律上の手續を濟ませて、手續濟の證明書を持つて來ないものには、敎會は結婚式をして遣つてはならぬと云ふ事になつて居ます。

所が我國では事實上の婚姻と法律上の婚姻との間に何等斯ういふ連絡が取れて居ませんので、西洋では實際に結婚して居る者で、法律上夫婦と認められて居ない者は殆んどありませんのに、日本では結婚式を上げて、風俗上道德上立派な夫婦であり乍ら、婚姻屆の濟んで居ない爲めに、法律上夫婦と認められて居ないものが、たくさんあります。即ちたとひ神前結婚をしやうとも、三々九度の盃事を行はうとも、どんな立派な披露を致しませうとも、戶籍役場に屆けが出てゐなければ、公に夫婦として認められないのであつて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

所謂内緣の夫婦關係であります。

これは婦人にとつて、最も不利益な事でありまして公然と夫の姓を名乘る事が出來ぬのみか、妻として有すべき權利を主張する事が出來ません。

夫が官吏であつたり、軍人であつた場合に、夫が死んでも、妻として受くべき扶助料を受ける事が出來ません、又夫が職工として死んだ場合について、工場法で、妻に與へる樣にきめてある、扶助料についても、同樣であつて、勞働者仲間には、殊に內緣關係が多い爲めに、頻々問題になります。

◎私生子の多いのは何故か

又世界中で、日本が一番私生子が多いといふ統計を見ますが、これによつて、日本の風俗が特別に亂れて居ると思つたら間違ひでありまして、實際は婚姻屆が出て居ない夫婦の間の子は、事實上は嫡出子であるのに、戸籍簿には私生子と附く爲めに、斯う云ふ統計が出て來るのであります。即ち實は私生子でもない我子まで私生子扱を受けさせねばならぬことになります。

其上婦人に取つて最も悲慘なことは、自分では立派に妻だと思つて居ても、法律上の手續が濟んで居ない爲めに、夫が自分を振捨てゝ、他の女と結婚しても如何ともすることが出來ないことであります。

殊に數年前までは、さう云ふ場合に不幸な婦人に何等法律上の救濟を與へる途もなく其まゝ泣き寢入りになるより外に仕方がありませんでしたが、大正四年以來所謂『婚姻豫約違反の訴』によつて、さういふ場合に婦人が男子から慰藉料を取れる樣になり婦人の立場が幾分か強くなつた事は、喜ぶべき事でありますが、これは裁判所が苦心の結果、實は婚

人に關する金言

△人こそ人の鏡
△人事言はむより我頭の蠅を逐へ、
△人盛んにして神祟らず
△人に高下なし心に高下あり
△人には逢ふて見よ馬には乘りて見

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

姻豫約の問題ではないのを、それにこじつけて、せめてもの救濟を與へたので、これによつて婦人が幾分慰安を得る事が出來、又男子の方でも、多少愼しむ樣になれば結構でありますが、併しこれだけでは事實上の婚姻關係其ものを維持しやうと云ふ根本の解決にはならないのであります。

回事實婚と法律婚の一致

一番よい根本的解決は法律を改正することです。人生の重大事たる婚姻について、斯くまで事實と法律とが一致しないでは、甚だ困りますから、何とか改正せねばなりません。併し實はそれが中々むづかしいので全然事實だけを標準にしやうとすると、婚姻と婚姻以外の男女關係との區別がつかなくなり、又婚姻關係の始め終りが、ハツキリしなくて困ります。

よ
△人の苦樂は壁一重
△人の死なんとするや其言ふ事悲し
△人の情は身の仇、人のつらきは身の寶
△人の情は世にある時
△人を叩いた夜は寢られぬ

そこでヤハリ婚姻屆をさせて、それを第一の標準とし、併し今日の樣にそれでなくてはならぬと云ふことにはせずに、屆出はなくとも、夫婦といふ事が親類知己間に認められて居るものは、法律上でも夫婦と認めるやうに、したいと思ひます。

併しながら法律の改正は一朝一夕の仕事でありませんから、さし當りの救濟策としては、我々の方から、法律に步調を合せて行く必要があります。

現在では婦人方に法律上の知識が乏しいために、男子のために誤られ勝ちですから、法律上の手續がすまなければ正當の妻でないと云ふことを、充分に心得て婚姻屆を勵行する樣にしなければなりません。

よく地方などでは、嫁を迎へてから、暫くの間樣子を見て、具合がよかつたら籍を入れやうと云ふので、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一種の試驗結婚が行はれるのでありますが、これは婚姻の根本義から、考へても、怪しからぬ事であります。私はどうか結婚當日に屆も濟ますと云ふ風習を作つて欲しいと思ひます。婚姻屆の手續は、實はさうむづかしいことではないのですから、しやうと思へば出來ないことはない筈です。

戸籍役場の方でも、取扱を親切簡單にして、婚姻屆は土曜の午後でも日曜祭日でも受附けるやうにしたいと思ひます。

回媒妁人の第一の仕事

我國の婚姻は媒妁人なるものがあつて、世話をすることになつて居ますが、媒妁人の大切な任務の一つは屆出入籍を見屆けることであります。

普通に結婚の式が終りますと、媒妁人が『萬事滯無く相濟みまして、おめでたう御座います』と挨拶しますが、私に云はせれば、其時にはまだ萬事の中でも特に大事な屆出の一事がまだ濟んで居ないのが、先づ十中八九であります。

それでは媒妁人としての責任を盡したものとは云へないのであつて、其爲めに後にどんな面倒が起るか分りません。

要するに事實上の婚姻と法律上の婚姻とが一致しないのが、現在の一大弊害で、其差當りの救濟は婦人の自覺自重に俟つより外ないのであります。

附記

日本が法律と實際と充分聯絡がとれてゐないといふ一例として面白い話がありますが、それは昨年の國勢調査の時の事でありまして、日頃に何事も法律通りにせよと型にはまつたやうにやかましく言ふ役所の吏員達が國勢調査の時だけ「法律に拘泥せずに正直に妻は妻、實子は實子とありのまゝを書くやうにと宣傳して歩いたのは、私共から見ると甚だ滑稽な事に思はれます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

昔の娘と今の娘

府立第一高等女學校長　市川源三

◉すべてを調和させよ

衣食住を始め、あらゆる日常生活に調和といふ事が缺けて居ては非常に醜いものであります。洋服は西洋館に適し、日本服は日本家屋に適して居ますのに、洋服だけを採用して、洋館を採用しない時は、種々不便が起り、不經濟であると思ひます。

近頃生活改善といふやうな事をやかましく云ふやうになりましたが、生活のいろ／＼の形式に調和を求めたいといふ要求に外ならないのであります。さうして、これに對して我々の態度も變らなければならぬといふのも一種の生活改善でありまして、今の處女は昔と同じやうな考へで居てはならないのであります。

◉西洋婦人の態度

西洋の婦人は家庭的にも相當に働くけれども、外部の社會的に専ら活動して居りまして、自然社會的に活動するものは家庭に働くものより、言語、動作、服裝なども、違はなければならぬといふ考へが深いやうであります。

これ等は日本と大分違ふ所でありますが、今日では日本の處女も、昔の箱入娘のやうに家にばかり居るものでなく、少女時代は小學校に通ひ、更に進んで上の學校に行つたりして、又家庭に居るものでも、種々の

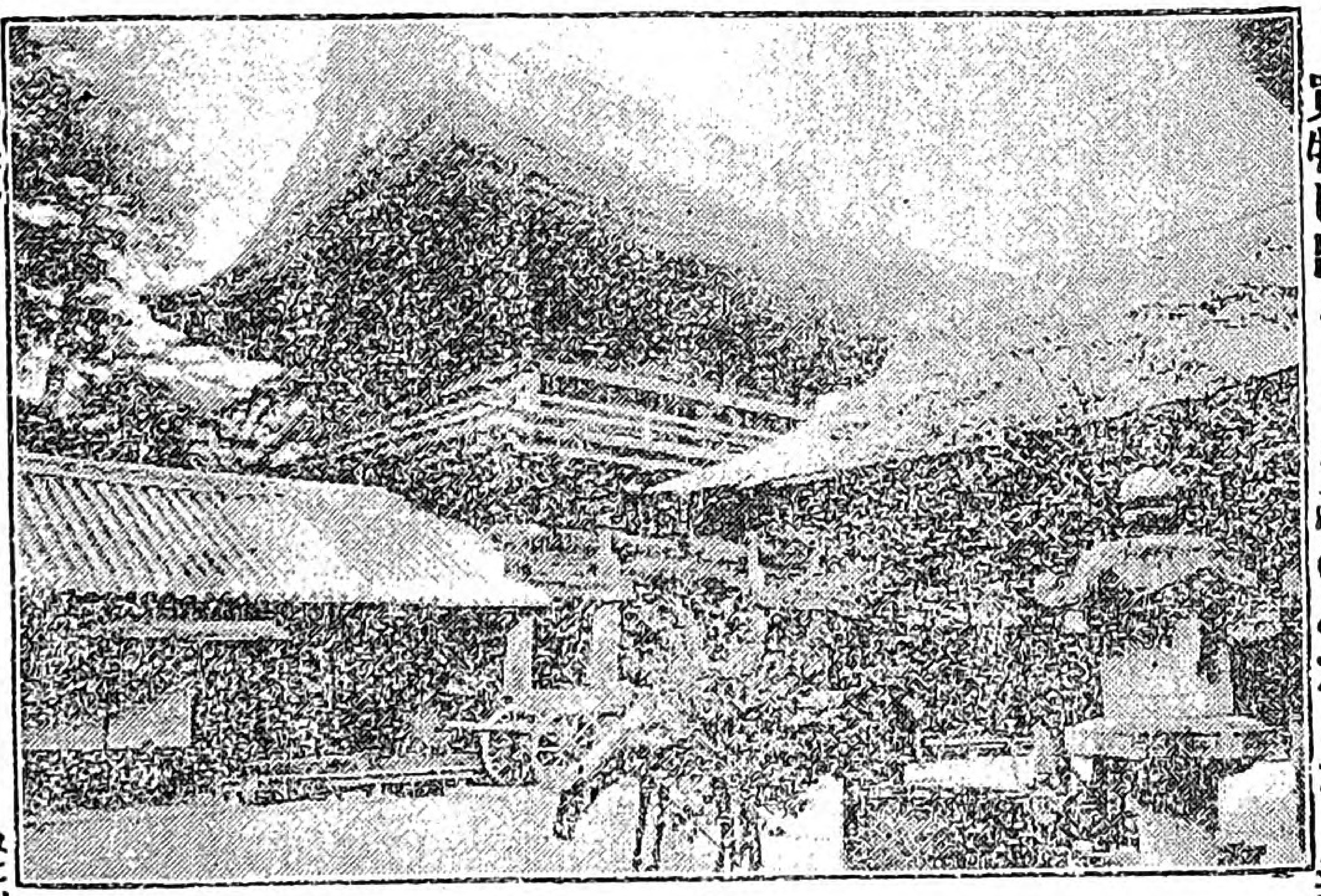
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

機會に外出する事が昔より多うございます。日に月に交通機關も發達して行くのを利用して、買物に出るとか、講演を聞きにゆくとか、若くは娯樂を聞きに行く事が多くなつて來ました。まして職業婦人となつて、社會に活動し、男女いろ〳〵の人に接し、又種々な境遇にも出あふわけですから、これに對し、生活の變つたのに應ずるやうに婦人の服裝態度、心得も變らなければならないのであります。

◎箱入娘時代の服裝

それですのに日本の婦人は最先に改めなければならぬ服裝を箱入娘時代のまゝで居ます、第一に步行に困難で運動にも不都合、車の昇降にも不便なばかりでなく、單に布をもつて、上から纏ふといふだけで

官幣大社箱崎宮樓門　（森鷗世寄）



折々脚部を出して、風儀上好ましからぬ姿を見せます、それのみか人から迫害をされた場合も、充分に防禦する事が出來ず、又立つて居たり、腰かけて居たりする時に、腰から下を冷やしすぎる恐れがあります。この服裝は實に深窓のもとに箱入娘として居た時代のものであつて、今日のやうな活動的、社交的の世に其儘用ひるは不都合でありますが、まだ〳〵改める事が出來ないのは生活に於ける不調和であります。

◎強く優しく

今まで日本の女は優しいといふ德を誇として居ましたが、そればかりでは、まだ箱入娘時代に尊重された道德でありまして、外出したり、社會に出て男女さま〴〵の人に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

接する今日の世には、強さもなければ、不德を防禦する事も出來ず、男子の迫害に抵抗し、又は誘惑に打ち勝つ事が出來ません。

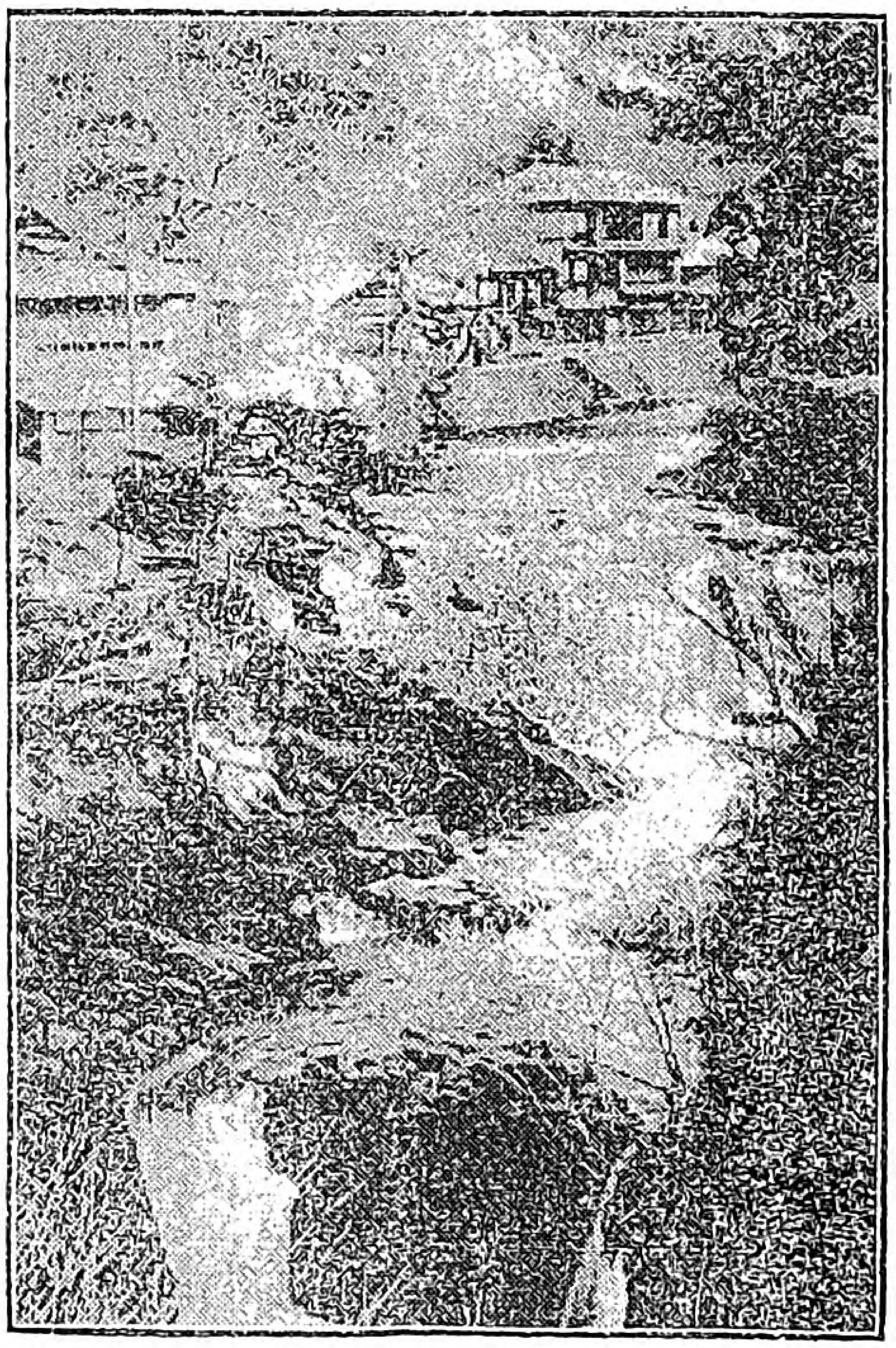
先方が眞實であるか、僞りであるか、本當の顏色を諒解し得るまでに、賢くなり、そして身體も強く、意思も強固でなければなりません。

今日迄我國では聰明な意志の強い婦人を賞美して居ませんで、殊に男子はかういふ婦人を邪魔者とし、婦人自身も亦自覺して居ません。これらは進歩しない不調和の一例と申されませう。

勿論婦人の態度ばかり改良しても、徹底した進歩も出來ません、男子の態度も改める必要があります。

第一日本の男子は女を考へるに、母を思はず、娘を思はず、反つて玩弄物を思ひ出す狀態にありますが、かういふ狀態を改良しませんでは、到底婦人の發展も活動も望み得られないのであります。

金津名所　伏見ヶ瀧



これは青年團の指導者も注意しなければなりませぬが、處女自らも、それに抵抗し得る力を持つ事が必要であります。

よく日本人は天眞爛漫に無邪氣に育つた女がよいといひまして、世の憂き苦しみの話など、女に知らせないがよいといふて居ますが、これは大きな誤りであります。

箱入娘時代にそのまゝ良い家庭に緣づかせた時代なら兎も角、解放されて學校敎育を受け、新聞や雜誌に充分接するやうになつて如何に天眞爛漫にしやうと思ふても、このまゝ社會に接しさせて居ては、これに觸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

れないで居られない。それでこれに對する抵抗力を養つて置く必要があります。

恰度流行病に對する豫防注射のやうなもので、到底流感の黴菌をさけられないとすれば、それに觸れても病毒の害をうけないやうにするのと同じであります。

今や各方面の善惡さま〴〵の思想に觸れるやうになりましたから、それに對する抵抗力を養ふ必要があり只婦人を無邪氣にぼんやりと育てゝは大きな誤りで、世の中の進歩を諒解しないやり方であります。

◎若い婦人の努力を望む

最後に婦人が、男女さま〴〵の人に接して、活動するには、體力が必要であつて、現代が要求するだけの體力をまだ〳〵婦人はもつて居ません。

或一部の人は例外ですが、すべて物事を忙がしくする事短時間に多くの仕事をする事には男女共日本人は全體不適當で、ましてや婦人にはこれを望み得られないのであります。

毎年體格檢査をして、相當のものでなければ入學を許さぬ女學校ですら、春から夏までに五人七人の患者を出し、如何に日本婦人が弱いかを現して居るのは、非常に遺憾に思ひます。

西洋に行つた人が、誰でも感ずる事でありますが、西洋の婦人は、活潑であつて、意志が強く、非常に聰明である事であります。

これは婦人の敎育程度の高い結果であり、男子同樣婦人を尊重する結果でもありますが、日本でも今すぐとは云はれないが、將來は必ずさうなるでありませうから、先づ第一に若い婦人が大いに努力して婦人自ら其地位を高めるやうにして欲しいと思ひます。

とに角時勢に眼をつけて、すべてを調和させ、廣い世間、多くの人々を見て、圓滿によく調和のとれた人となるのが、今後の婦人にとつて最も大切な事であると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

衣服の整理

本會理事　甫守ふみ子

◎虫干の時期

奈良の正創院は十月に虫干を致しますし、一般の家では夏の土用中に虫干をするのが一般の風習でありますが、本當は黴菌の繁殖力が弱り、又昆虫類も多く、さなぎになつてしまふ秋にするのが一番よろしいのでありますが、一層念を入れてしますには、梅雨明けの頃にも一度風を通して、黴などよくはらふとよろしいと思ひます。

それにしても本當の虫干はやはり虫がさなぎになつた時分によく風を通しよく手入をしなければなりません。

衣類につく虫には衣蛾、小衣蛾、鰹虫、シミ虫などありまして、衣蛾、小衣蛾は幼虫の時にメリンスを盛んに食ひます、又鰹虫とは鰹節のやうな堅いものにつき、又毛織物などにもつきます。シミ虫といふのはよく紙につく虫であります。

そして毛織物の中ではメリンスが一番虫がつきやすく、次がフランネルそれから綿ネルといふ順序で、少しでも毛の質の好いもの程、虫がつきやすいといふものであります。

◎毛織物の手入

衣類の中で最も虫がつきやすく、手入も注意を要するものでありますが、虫干の際ばかりでなく平常も叮嚀に扱はねばならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

すべてよごれて居ますと虫がつきやすうございますから垢のつかぬやうに心掛け、それでも肉眼では見えぬ程の小さい卵をたくさん産みつけて居る事もありますから一度干したらよくブラシをかけて、外套などのやうに長く暗い室にかけてさげてあつたものは、最も叮嚀にしらべ、ベンノー油を霧吹にして、ブラシをかけて仕まひます。

しまひます時には新聞紙などのやうな西洋紙で少しも隙のないやうに包んで置きますと、虫がつきかねます。

毛織物はあまり強い日に干してはなりませんが毛布などはやはり日に當てた方がよろしうございます。

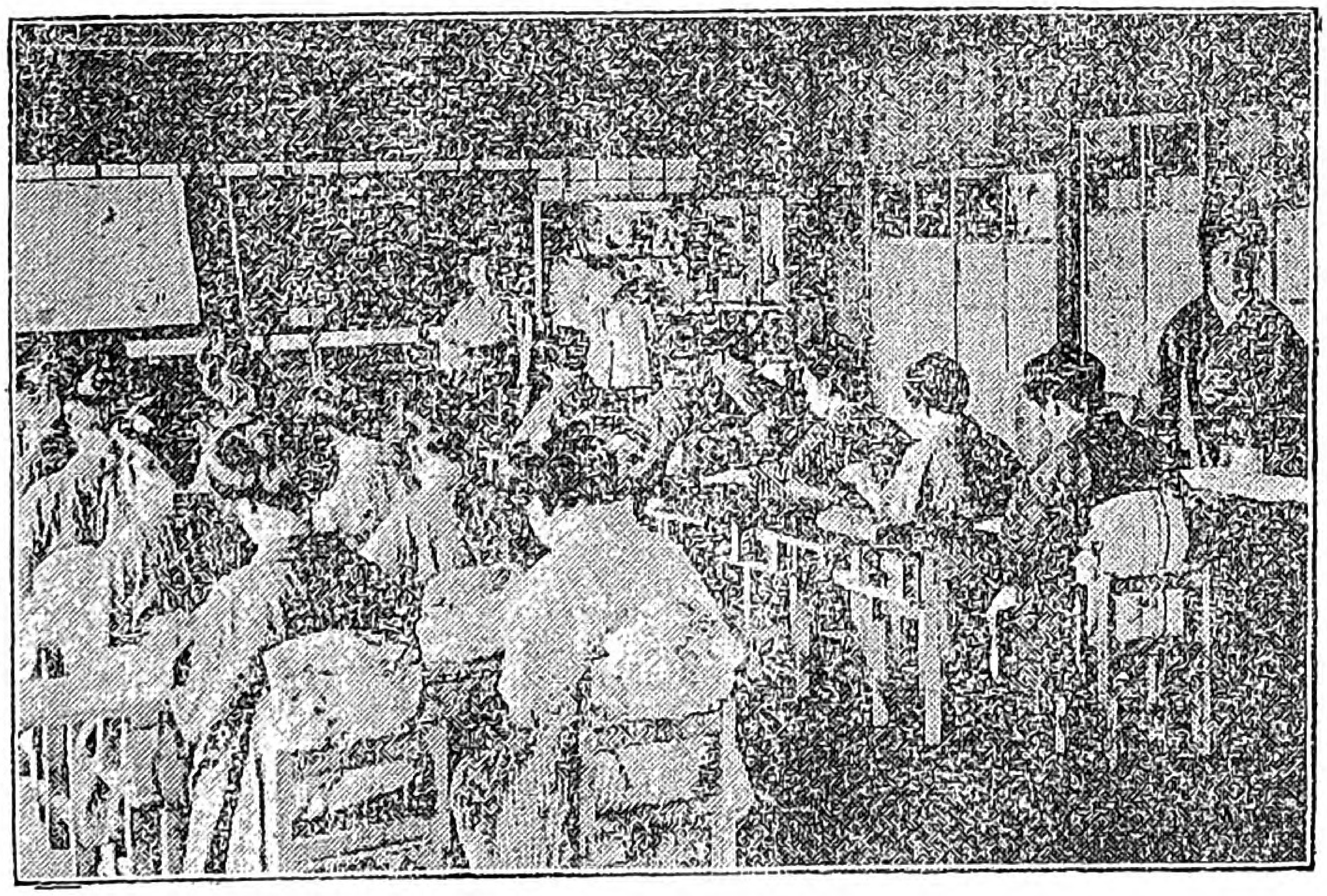
平常外套などを暗い室にかけて置くのはいけない事で、其間に知らず〳〵虫が卵を産みつける事があります。押入につるして置くにもナフタリンを入れて置きますとよほど違ひます。

防虫劑には種々ありますが、ナフタリンが最經濟上よろしいと思ひます。

間にはナフタリンを入れても、やはり虫がつくと言ふ人がありますが、それはナフタリンの中で卵がかへつて、嫌ひなにほひに慣れて居るためであります。

勿論樟腦も結構ですが、樟腦は金屬をさびさせますから、金モールのついて居るものなどには用ひてはなりません。

尾澤組工女裁縫實習



長野縣　伴在多津子寄

◎絹物の手入

絹物は毛織物のやうに虫がたくさんつきませんが、たくさん重ねて置きますと、むれて地質を痛める事があります。

あかしとか呂など最も甚だしくあまり着ないのに袖の山など傷む事がありますから、こんな薄いものには、細く眞綿をはさみ、輕い地質のものはなるべく上に置くやうにしなければなりません。

殊に紗などは薄くてピンとして居ますから山が切れやすう御座います。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

これは最も品のよい場合でありますが、羽織を疊みます場合に、羽織は衿だけ高くなつて居ますから、衿と同じ厚さの紙（やはらかいもみ紙）を他の部分にはさんで疊んで置くとよろしうございます。

上等の絹布の防蟲劑は龍腦でありまして、龍腦は樟腦よりは價は高いのですが、永くもち匂ひもよく不經濟ではありません。

又厚板の帶のやうな厚い地質のものは、疊んだ折目に眞綿を入れて置くといたみません。

平常簞笥に入れる時も六ツ折りにするより、五ツ折りたした方が、地質のためによいのであります。それは六ツ折りにしますと折目がいつも同じでありますから、五ツ折にしてなるべく折目が變るやうにしなければなりません。

其他紋所や模樣に紙をあて、袘の押へられぬやう重しのかゝらぬやうにしなければなりません。そして絹物、毛織物、木綿物はそれ〴〵別々にしまふやうに注意しますと、衣服が丈夫であります。

◎衣服を長く保つには

すべて衣服は手入の仕方一つで、外見に非常な相違があり又、保存にも大變影響するものでありますから婦人の心掛けが最も大切であります。例へば同じ羽織と袴でも、キチンと疊んで居れば襞も衿も折目正しく大變品が見上げて見ゆるものであります。

そして折々仕立直すといふ事は大切な事で、縫直しをすればするだけ衣服は長保存さるゝものであります。

殊に仙臺平の袴のやうな品がよくて、地質の厚いものは、少し捨てゝ置きますと、すぐに襞の處が痛んでしまひます。めつたに用ひず又汚れて居ないと云つて疊んで仕まつたきり何年も縫ひ直さずに置きますと、とりかへしのつかない事になります。

白羽二重のやうなものなれば、すぐに汚れ目が立ちますから、其都度縫ひ直す必要もありませんから、全體を乾燥洗濯でもしく置くとよろしいと思ひます。

すべて衣服は保存の上からも容儀上からも取扱ひを叮嚀にする事は婦人の大事な務めであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蜘蛛の働き

□蜘蛛は憎むべきものでない

いろ〳〵の蟲の中には、蜻蛉や蝶や螢のやうに、勇ましいもの、綺麗なもの、面白いものとして、可愛がられるものがあるかと思ふと、また一方にはその形が醜いからとて、非常に嫌はれるものもあります。

その一つとして、蜘蛛も大方人に嫌はれ、その巣も汚いからといつては、箒の先などで拂はれてしまひますが、蜘蛛は決して憎むべきものでないのみか、人間にとつて有益な蟲であります。

蜘蛛が巣を作るのは、棲家にするのではなく、他の蟲類をそれに引掛らせて、それを餌食とするためでありますが、夏になつて一番我々を苦しめる蚊などは、澤山この巣に引掛かるので、蜘蛛がすぐそれを食つて仕舞ひます。もし蜘蛛がなかつたなら、我々は今より一層蚊に苦しめられねばなりませぬ。蚊は血を吸ふ害蟲であるばかりでなく、蚊の中には血を吸ふ際に歇間熱やマラリヤのやうな熱病の媒介をする恐ろしいものもあります。

□蜘蛛の妙技

蜘蛛の中には蠅取蜘蛛と云ふのがあります。これは疊の上をぴん〳〵飛び廻つて、蠅を捕へてはその血を吸ふ蜘蛛であります。

蠅は汚い物の上に止つたその足で遠慮會釋もなく吾々の食物の上に止つて、惡い黴菌や病毒を傳染する媒介をしてゐます。それで謂はゞ吾々の命の大敵で、恐ろしい害蟲であります。アフリカに居るチエ〳〵蠅といふのは、大熱をおこす惡性の熱病傳染の媒介をするのであります。

かう數へ上げて見ますと、蜘蛛は決して厭ふべき蟲ではなく、反つて可愛がつてやつてもよいのであります。またその作つた巣を見ますと、吾々はその妙技に感嘆するのでありまして、どうしてあんな綺麗な巣を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

編み出すかと、不思議に思ふ位であります。

□蜘蛛の巣の出來るまで

蜘蛛の巣の最普通なのは網形でありますが、覆面紗形と言つて、西洋の婦人が婚禮の時に被る白紗のやうなものがあります。こんなのは非常に細かく、緻密なもので、どうしてあの蜘蛛があのやうな細なものを作つたかと驚く程であります。

さうして蜘蛛が巣を作るのに、絲は何處から出るかと言ふに、蜘蛛の尻には小さな孔が篩目のやうに澤山口を開いてゐます。絲はこの孔から出る粘液で、この粘液が空氣に觸れますと、乾いて絲となるのであります。

孔から出たばかりの絲は非常に細いもので、迚も肉眼には見えませぬが、それが數百本合して、始めて巣の材料となる絲となるのでありますそしてこの細絲を太絲にするのは、蜘蛛が後脚でよるので、その巧な事はこれまた驚くべきものであります。

蜘蛛の尻から出る絲は蠶の口から出る絲のやうに、何かに利用の道はあるまいかとは、昔から人のよく言ふ事でありますが、既に百六十年前に、フランスのルボンと言ふ人がこれで大絲を作る事を試みました。

これで以て靴下や手袋のやうなものを編む事が出來ました。

そこでルボンは大に悦んで、蜘蛛を澤山飼つて、絲の素を作らうとしましたが、不幸にしてこれは成功する事が出來ませんでした。なぜなれば、蜘蛛は密蜂や蠶のやうに、澤山飼つて繁殖さすることが出來ませぬさうして天然に產するだけでは、それればかりでは大袈裟に絲の材料を取るには、とても足りませぬ。

それ程蜘蛛の絲は役に立ちながらまだ今まで利用されて居なかつたのは誠に殘念であります。

生活難とか物質缺乏などゝいふ聲の高い今日、自然より與へられたるものによつて、我々の生活のたすけとなるものを求むるやうに心がくることは文明人として大切な事と思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

＝海の智識＝

海軍々醫大尉　堤　皞

◇慈母のやうな海

「四面海もてかこまれし」と唱歌にあるやうに、寔に我が帝國は國の小さい割に海岸線が一番長い海國であります。即ち此は一面港灣が多いといふことです。

然し「海とは如何なるものぞ」と問はれたら、山間僻地の方は勿論日常海に親しんで居らるゝ濱邊の人も一寸お答へするのが難かしい事と思はれます。で海とはどんなものであるかといふ事をザッと書いて見ませう。

海！　月光漂ふ太陽の姿を沒する様に見ゆる海、寄せては返す荒磯、眞帆片帆の浮んで白鳥と見紛ふ様、號笛一聲殘る煙を長引かして行く汽船、海水着の姿、其から其と聯想が湧いて來ます。さうして海は慈母といふ感じがします。其は何物をも抱き得る愛の力と、寛大な心の持主といふ親しみのある氣分が湧いて來ます。

丁度山嶽といふと何となく嚴父と云ふ樣に思はれますのと同じであります。

人と生れて、父母が揃うてあるといふのが最も幸福でありまして、どちらが缺けてもならないのであります。それと同じやうに、海と山(陸)とは何れを離してもならないのであります。

私共が朝夕食べるものに就いて考へましても、野菜鳥獸の肉が必要であるやうに、海から出る魚や、貝や昆布、雲丹、海苔等の海産物が姿をかくしたら食膳は如何に淋しくなるでありませう。

唯淋しいばかりでなく、日用品の物價騰貴を來しまして、生活が非常に困難になります。春日の局も物の味は鹽加減一つであると申した程の調味の本元が岩鹽ばかりではどうなりませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◇もし海がなかつたら

そればかりでなく、山や谷から湧き出る水のやり場がなく、吐き出す場所がなかつたら、陸といふ陸は、忽ち水に浸されてしまひませう。これ程必要な海、産物の寶庫である海を識る事はどんなに面白い事でせう。第一に海と陸との面積はどちらが大きいでせう、そしてどの位大きさの差があるでせう。

大きいやうに思つても私共の棲んで居る陸は海の約四分の三に過ぎないのであります。言ひかへれば海の方が陸より約三倍弱大きい譯です。これを數字で表して見ますと、海は一億〇八百六十四萬五千三百六十一方哩と云ふ大面積となります。そして南半球より北半球の方が大きいので、海の主なるものは、太平洋、大西洋、印度洋、南極洋、北極洋の五大洋に別れて、その間に大陸があり、島があり、半島が散在し、港灣、海峽、緣海などが出來てゐます。

五大洋の中では太平洋が一番大きく、日本の問題になつて騷がれて居るのはこの太平洋問題なのです。

海水の鹽辛い事は御承知でせう、其の約千分の三十五の鹽分があるので、これがために眞水よりも物を浮かす力が大であります。その鹽分の主なものは食鹽(鹽化ナトリウム)なのです。これを含む量は處によつて一定して居ません、つまり雨量と注ぎ込む河川の少く蒸發の盛んな地方の海水程鹽分を多量に含み、これと反對ですと含量も少い譯です。

普通海水は藍色をして居ますが、鹽分が少いと、綠色でこれと反對に鹽分が多いと濃い藍色となります。

今假に海の水を殘らず蒸發したら、どの位鹽がとれるでせう。あの廣い海底に平均六十米の厚さの鹽類の沈澱層が出來ると聞けば誰でも驚かないでは居られません。

支那の黃海は揚子江と云ふ大きな河から土砂を流し込むので、名のやうに黃色であります。黑龍江はニコライエウスク市の前を流れて居りまして同樣に、濁流で海が數哩にわたつて、黃色になつて居ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◇海は氣候の變化が少い

又海は水蒸氣も多く發散し、溫度を增す事も冷却する事も陸のやうに急激の變化はありません。一日の溫度が三度以上の差がある事は稀であります。又四季の溫度の差も十度を超ゆる事は尠いのです。其から水深五百尺位までは太陽の光の影響を受けて、下に行く程水溫は次第に下り、千二百尺位の深い所では赤道直下でも零下であります。序に申しますが、海水の結氷點は零下四度であります。浦鹽でも冬季に灣外まで結氷に閉されます。舞鶴港でも一分か二分位の厚さに結氷する事がありますが、こんな時には、船は碎氷船の後から進んで行きます。よく暖くなると山のやうな氷塊が流れて來て、丈夫な汽船も粉微塵に破壞し、多數の死者と財寶とを海の藻屑として、沈めて終ひます。北海の航海は此が危險で、昨年望月海軍少佐の指揮された運送船バイカル號が氷塊に乘り上げ行衞不明であつたのが、ヤツと助かつた事はまだ耳底に殘つてゐる事でせう。

世界最高のエベレスト山は二九〇〇二呎で海の最深所比律賓、東京のプラネツト海溝は、三二、〇八一呎です。海洋の平均深度は陸地の平均高度二五〇〇尺の五倍で丁度靈山、富士山の高さと相似て居ます。

太平洋が最も深く、大西洋これにつぎ、印度、南極北極の三洋順に淺くなります。瀬戸内海の最深所は九百九十尺内外に過ぎませんで、日本近海の平均深度は四百六十尺であります。

大氣に一定の氣流がある樣に海洋にも亦一定の海流があります。恰度海中の河の樣なもので、海洋の水は常に環流して居ます。是皆大氣の流に原因して居て、即ち風の爲に起るのであります。此に寒暖の二流があります。漁業、航海學に大影響を及ぼすもので、暖流の流れてる所は緯度の高い割に氣候が暖いものです。

暖流とはその附近の平均溫度より高いものを云ひ、低いものを寒流といひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

我國有名な高山

山嶽	高さ	山嶽	高さ	山嶽	高さ
新高山（臺灣）	一三、〇二〇尺	駒ヶ嶽（甲斐信濃）	九、九〇五	四阿山（信濃）	八、九〇七
富士山（駿河甲斐）	一二、三八七	仙丈ヶ嶽（信濃）	九、七六八	鳳凰山（甲斐）	八、八五七
關山（臺灣）	一二、〇八一	蓮華山（同）	九、六八二	妙高山（越後）	八、七九〇
前山（同）	一一、七〇七	赤嶽（同）	九、六七六	御前山（加賀）	八、六八一
丹大山（同）	一一、六二八	八ヶ嶽（同）	九、六六七	大汝山（同）	八、六一八
シルビヤ山（同）	一一、二八九	靈頭山（同）	九、六一〇	屏風岳（信濃）	八、六〇〇
群大山（同）	一〇、七六〇	荒川岳（同）	九、六〇〇	劍峰山（加賀）	八、五九九
赤石山（駿河信濃）	一〇、二一四	鎗ヶ嶽（越中）	九、五〇〇	國司嶽（甲斐信濃）	八、五五三
白根嶽（甲斐、信濃、駿河）	一〇、二一二	三隅嶽（駿河、遠江、信濃）	九、三三九	金峰山（甲斐信濃）	八、五四九
東俣山（同）	一〇、二一二	錫丈ヶ嶽（信濃）	九、二四〇	立山（越中）	八、五〇〇
檜ヶ嶽（信濃）	一〇、二〇四	乘鞍ヶ嶽（同）	九、一〇九	奥千丈ヶ嶽（信濃）	八、二四〇
御嶽（同）	一〇、一二八	前岳（同）	九、一〇八	淺間山（上野信濃）	八、二三〇
大蓮華（越中）	一〇、〇〇〇	乘鞍ヶ岳（越中）	九、〇〇〇	白根山（下野）	八、二〇〇
白馬嶽（信濃）	九、九二〇	寶永山（駿河）	八、九一八	男體山（下野）	八、一九五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誤り易き文字

(正)		(誤)	(正)		(誤)
往々	(ときとき)	徃々	收穫	(とりいれ)	收獲
辨別	(みわけ)	辯別	弔問	(おくやみ)	吊問
侯爵	(身分の稱號)	候爵	蜜柑	(果物の名)	密柑
祕密	(ないしよ)	秘密	舊臘	(昨年の暮)	舊蠟
辯護	(いひひらき)	辨護	刈取	(根からとること)	苅取
非難	(とがめせめる)	批難	大抵	(おほかた)	大低
成績	(できばえ)	成蹟	慰藉	(なぐさめなだむる)	慰籍
帳簿	(ちようめん)	帳薄	廢止	(やめる)	癈止
弊害	(わるいならはし)	幣害	屆出	(書式を以て願出る)	届出
到底	(とても)	到抵	懲役	(罪のため使役さること)	徵役
理窟	(すぢみち)	理屈	廉價	(安いねだん)	亷價
戶籍	(身分に關する登錄)	戸藉	報道	(しらせる)	報導
癈疾	(病氣怪我で不具になりたる)	廢疾	貨幣	(金、銀、白銅、銅貨)	貨弊
西瓜	(果物の名)	西爪	家畜	(家で養ふ動物)	家蓄
徵兵	(丁年の男子を徵すること)	懲兵	掘割	(ほりぬき)	堀割

九月(ながつき)

舊暦 七月廿七日より 八月廿九日まで

二百十日

立春より二百十日目で、九月一日に當ります。俗に云ふ穗孕の時で農家の厄日として重要な時期であります。

重陽の節句

重陽の節句とは、九月九日のことで、月と日と九陽の數にかなうが故にこの名があるのだと云はれ、重九とも稱へ、近來菊の節句とも云はれます。もとこれは支那の風を移したもので、支那では、九九、上九、菊花節、茱萸節、菊酒の辰などゝ云ひ、斯の日、高山に登つて菊酒を飮み、茱萸の嚢を佩ぶるを例としたさうであります。其の起源は詳でないが、漢代既に此の事が行はれた樣であります。つまり九は數の極で、これを十二支に配すれば戌に當り、戌は萬物靈滅の意があるので、古人、戒心する所ありしより、遂に重陽の儀は起つたものと思はれます。茱萸を佩ぶるは茱萸が邪氣を避除して、寒を防ぐと云ふに基いたもので、又菊花酒を飮むは、菊は仙境に開く花で、延年の德ありと云ふに基いたものと思はれます。

後の彼岸

彼岸は春と秋とにありまして、春の彼岸に對して、秋の彼岸を後の彼岸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

屈强(すぐれて强い)窟强　記憶(おぼえ)記臆
感冒(かぜ)寒冒　成功(なしとげる)成效
括弧(かこひ)括孤　貫徹(つらぬきとほす)貫撤
怠惰(なまけ)怠隋　大西洋(歐羅巴と亞米利加の間の海)太西洋
煉瓦(建築用にする)練瓦　臆病(ものおぢをすると)憶病
蠟燭(點燈用に用ふ)臘燭　効果(しるし)功果
階梯(上る段)楷梯　刮目(注意して見る)括目
檢査(しらべる)撿査　太平洋(亞細亞と亞米利加との間にある海)大平洋
料簡(思案すること)了見　練習(みがきならう)煉習
狼藉(ちり亂れたるさま)狠籍　緩慢(ゆるやか)緩漫
慢性(永びく性)漫性　缺點(惡いところ)欠點
徹底(おく底まで達する)撤底　裁縫(たちぬい)栽縫
蒸氣(ゆげ)蒸汽　明晰(はつきり)明晣
功績(てがら)功蹟　爛漫(花のさきみだれたるかたち)爛熳
恢復(もとの通りなほる)恢複　計畫(もくろみ)計晝
緣側(母家の端)椽側　栽培(やしなひつちかふ)裁培
綺麗(美しく清いと)奇麗　縮小(小さくちゞめる)縮少
汽車(交通機關)滊車　精練(よくねれてゐる)清練

と云ひ、秋分の日を中日とし、前後三日間づゝを併せて、七日間を云ふのであります。

彼岸の稱は佛家から出たものであつて、太陽が彌陀の淨土の方向なる眞西に向つて沒する彼岸の七日間に善根を施せば、生死の此岸より煩腦の中流を渡り、涅槃の彼岸に達することが出來るといふので、彼岸には寺に詣でゝ、佛に供養し、墓參して祖先の靈を祀り、又六阿彌陀詣と云つて、行基菩薩の作にかゝる一木六體の阿彌陀像の安置されてある寺々に詣ることなどもあります。

秋季皇靈祭

毎年秋分の日は秋季皇靈祭に當り、此の日皇靈殿では、歷朝の皇靈、皇后、皇妃又び皇親の靈を御親祭あらせられ、神殿にては八神並に天神地祇を御親祭あらせられ、東遊の雅樂が行はせられます。

東遊びといふのは雅樂の一であつて、もと風俗歌であります、東國の歌を謠ひ舞ふので、東遊の名があるのであります。

其の始めて記錄に見えたのは、貞觀年中のことで、舞人は雅師六人よりなり、皆小忌衣を着し、櫻と山吹の挿頭花をさし、和琴（雅樂師一人）拍子（同一人）笛（同一人）篳篥（同一人）附歌（同三人）琴持（同二人）の雅樂に合せて舞ふのであります。曲には一歌、二歌、駿河歌、求女歌、大比禮などがあります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

南米移住の少女より

□　□　□

お變りもありませんかお伺ひ致します、お手紙によれば大島さんが當地にお出になる由、皆で國の樣子をお聞き致さうと言つてお待ちして居ます

當地はこの頃雨が多くて思ふやうに仕事がはかどりませんが、作物は驚く程良く出來て居ます。

稻は八月と十二月の二度まきます。南米は北海道とちがつて、雪が降る氣づかひがありませんからまきつけも大變ちがひます。

八月まきの穗の出る頃には十二月まきが二尺ほどのびます。

玉蜀黍は八月まきますと一月頃にはからさやになり、丁度十月にまいた玉蜀黍が一月にたべ頃であります。

棉は一月頃五尺程になつて、花がさき。馬鈴薯は九月に植えて一月頃掘ります。

水瓜は今年は非常になつて居ましたが虫が入つて食べるのはたくさん有りません。

去年は毎日二十程ちぎりました。作物に就いてはこれくらひの事です。

御手紙に柿が赤くなつたとの事皆が一つ食べて見度いと言つて居ります。

ブラジルにも有るとは言ひますが、まだ私共は此處へ來てから、見た事が有りません。

私の所でも密柑を二十本、栗を二本、葡萄、梨バナ、、マモンなどを植えまして、柿も植えて見たいのですが種子がないので、出來ません。

それから一番こまるのは言語であります、ブラジル人は大そう早く言ふのでわかりません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

今では少し聞きおぼへまして、買物ぐらゐは出來ます。私も字や言葉を早く覺えやうと思つて、毎夜は出來ませんが一週間に三晩程、よく言葉のわかる人に四五人共に教はつて居ます。
日曜には仕事も皆休み、多勢で日曜は犬をたくさんつれて狩に行きます。
主に鹿が取れます。鹿はたくさん居ます。私の父も罠を掛けて一頭とりましたその肉が一斗樽に一ぱいありました。
鹿が犬に追はれて一度私の家の前に來ましたのを、皆で追ひまわつて、ピストルで打ちとりました。大さう面白う御座いました。（清水友子）

なかよし

山梨縣　大堀正六

北海道ノ八月

寒い〳〵と云はれて居る北海道も、八月に入るとむし暑い思をしなければなりません。
日本海から吹上げる風が心地よく吹いて居ます、沖には汽船や帆前船や漁船が絶えず通つて居ます。
男の子も女の子も大勢で海水浴をして居ます向方には男の子が五六人で波をくゞつては皆でときの聲を上げて喜んで居ます。
どの子供の身體も赤銅色をして居ます。日が落れると海邊はしんと淋まり返つて、波に碎ける月影がとほく海のはてまでも續いてちようど金貨を長く敷いた樣です、遠くの方からは笛や尺八の音が聞えて來てとても筆や舌の先であらはす事が出來ません。夜になると子供等が背中が痛い〳〵と、鼻をフン〳〵鳴して居ます、それでも次の日は又海に入つて面白さうに遊び廻つて居ます。
（赤泊ヨシエ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

女と美と心

天野清子

姉と妹

北海道　早苗波里子

處女會だの運動會だの同窓會だのといふ若い乙女の集る樣な會合の時何處でも問題になるのは服裝の事であります。此頃は大分その弊害が少くなつた樣ですがまだ地方の指導者のお話をきゝますと、そのために隨分困るといふことです。或方は少し極端かも分りませんがかうおつしやいました。「女は女同志の集りの時はきつとそれとなく相手の服裝や顔を見る。そして自分がその仲間の中で少しでも優れてゐると知ると非常に誇を感じてそれとなくその場の女王になりすましてゐる。」

と。この言葉から考へて見れば

『女といふものは顔と着物でその心が支配されてゐる』

といふことになりますまいか。

またもしこの場合

「自分が非常にみんなと比べてみすぼらしいと思つた時はこれに反して失望する」

といふことになりませう。

果してそれは僞らない女の氣持でありませうか。私は都鄙を問はずまた教育の程度に關はらず多少はあると思ひます。電車に乘つた時でも女はまづ乘合せた女に目が注がれる樣です。無論男子よりは女はどこでも人の目につきやすいものですがとり分け女は相手の服裝に細心の批評心を働かせるものだと思ひます。私はそれは惡いことだ虚榮心だと一途にけなしたくありません。美くしいものに憧れるのは萬人の心です。殊に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女はその方面に發達してゐますから自然それに注意が向けられるのは結構なことゝ思ひます。

□

人間は眞實を尊び眞理を愛する一方に、また美を好み高尙な趣味をたのしむといふ心を持つて居ります。黒い花よりも赤い花が好き。下品な醜い人よりも美くしい床しい人が好きであります。殊に女は美くしいものが好かれます。

それで女が裝ふことに腐心するのは、當然で惡事でも、おしやれでもありません。相當の身嗜みが誰れでも必要であります。けれどもその程度を考へねばなりません。他の事柄と調和を保つてゆかねばなりませんその度がすぎて只『女は美くしく作り美くしく裝ふことが萬能の樣に考へては大きな誤りであります。美くしいといふことを淺薄に考へてはなりません。美の標準と美の意味とをよく考へねばなりません。化粧がうまく出來て着物の着方が上手だといふのでは決して美くしい人とは云へません。けれどこんな分りきつた樣な事がどうしたものか行はれてゐません。とかく一方に走つてつい身分不相應な慾を出していゝ着物を買つたり、すべき仕事を怠つて化粧をしたりする。それが嵩じると一種の虚榮病にかゝつてしまふ樣になります公平な目で見ると私どもの中には隨分この病氣にかゝつてゐる人がありませう。中には重症に陷つて親を困らせてゐる人もありませう。そして身分、兩親、境遇を顧みる暇なく虚榮の迷夢に醉つてしまつてゐる人もありませう。なぜ女はこの病氣にかゝりやすいのでありませう。なぜ女はそれを唯一の樂しみとするのでありませう。

私はそれは他にこれに優る樂しみのあることを見出さないからではあるまいかと思ひます。その缺陷は何かと申しますと

□

つまり精神生活だと思ひます。精神生活とは心の活きでありまして心の活きにはいろ〳〵あります、よろこびは心の活きから生れます。學問をするとつまり、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

科學とか文學とかを學ぶことから生れるよろこび、善事をして人をたのしませることから感ずる悦び、努力して勞働して結果を得るたのしみでありまして、これは顏や着物の樣に直接目に見えません。それでこういふ崇高な心の活きを知らぬ人の心は着物や顏以外になぐさみがありませんからさういふ人達は朝から晩迄どうしたらこの顏が美くしくなれるかしら、どうしたらもう一枚着物が買つて貰へるかしらどうしたらこの髮の毛がうまくふくれるかしら、どうしたらこの鼻がもつと高く見せられるかしら、と心を碎いてゐます。

だからたま〳〵上手にお化粧が出來て、いゝ着物が着れて、おまけに誰れよりも自分は秀逸だと思つたらうれしくて、たまらなくなるのであります。

そういふ女の多いほど女の頭は上りません、女の地位は認められません。

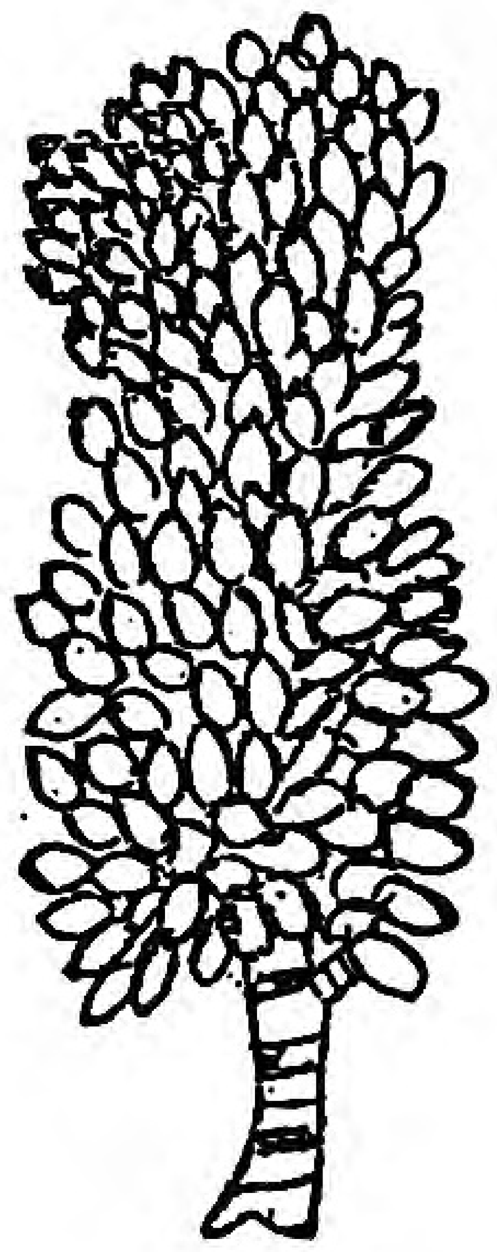
幼少の時から日本の惡い習慣として女の子供には着物を驕ります。そして娘ちやんのおべゝは。美くしいね』といつてからかひます。いつの間にか女の子は美くしいおべゝから虛榮の着物を求める樣になり、精神生活を忘れて罪惡の着物を求める樣になります。

大罪の裏には女あり、と申します。多くは女の虛榮心が原因してゐます。も少し日本の女が精神生活のたのしみを知り努力、勞働から得るよろこびを知り且つそれを尊ぶ樣になつたならばかういふ非難を受けないだらうと思ひます。

讀者紹介芳名簿

北海道	佐々木粲子
岩手縣	千田キヨ子
宮城縣	鹿野五十郎氏
群馬縣	萩原けん子
福島縣	渡邊新多氏
岡山縣	福島正道氏
福島縣	荒井久子
香川縣	植田コウ子
福岡縣	小山川まさ子
佐賀縣	高島淸治氏
廣島縣	山田君子
京都府	米田なほ子
岐阜縣	島田敬三氏
同	島田和三郎氏
同	野中兼吉氏
靜岡縣	影山勝氏
同	加藤ぬい子
埼玉縣	會田かね子
群馬縣	松島芳子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



小説

姉妹

青山

北國の町へも早や夏が來て軒場つゞきの一本町のあちこちに氷屋の旗が赤く見えて來た。北國の町、それはつゞく家並毎に軒場を一間程張り出して兩側とも屋根の下を人通りの出來るようになつて居た。これは、冬雪の降る頃一丈あまりもつもる雪のために道路が閉鎖されるので、斯うして軒場づたひに町の西から東へ行き通ひの出來るように家造りがしてあるのであつた。暑い日中も過ぎて夕陽が東山の頂を照らして沈み行く頃になると、この北國の町はどの家でも皆申し合せたように表へ涼み椽臺を出して夕涼みをするのが例になつて居た。美津子の家はこの町の中程にある呉服屋であつた。そして美津子の家はこの町でも屈指の資産家で、以前は番頭の四五人も置いて手廣く商つて居たが、追々父や母も年老ひて來たので、末子に生れた一人の男の子の吉彌が大きくなるまではといふので、一時番頭は皆出して仕舞つた。そして商賣の方を手狹にし、美津子の家族だけで出來る範圍内に商つて居た。それは年老ひた父があまり大げさな商賣の監督はしかねるといふのであつたが、戰爭後の好景氣の跡の不景氣をうめあはせんと、何事にも注意深い美津子の父が事業の手引へを計つたものであつた。美津子は今まで騒しい番頭と客の應對を見聞きして育つたので、急に靜かになつたが何となく物足りないやうでもあり淋しいようでもあつた。けれども彼女は騒しき昔にひきかへて、靜かに家庭的情味に浴することの出來るの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を何より幸福であると思つた。美津子には、彼女を可愛がつてくれる父母と、八十二になる祖母と、時さんといふ姉と弟の吉彌といふ二人の姉弟とがあつた。然し姉の時子は、去年の春美津子が尋常小學校を卒へて町の共立女學校へ入學する頃、世話する人あつて近村から東京へ出て居る醫者に嫁したのであつた。郷里で結婚式を擧げると、間もなく二人は東京へ行つた。美津子は姉が遠い東京へ行つて仕舞ふのが、何となく自分丈け廣い砂漠にとり殘されるように思はれた、そして又姉をうらやましくも思つたのである。それは姉の時子が行つて仕舞ふと、急に淋しくなると云ふ姉妹の少女らしい純な情と、東京といふ賑やかな、さうして華やかな都を一度でも早く見たいと思つて居る彼女には、今まで朝夕一所に寢起きして居た姉の時子が彼女の憧れて居る東京に行つて暮すといふのがうらやましくも思はれたのであつた。

「姉さん！　もう東京へ行つて仕舞ふの？　妾も行きたいわ一所に」

「さうね、一所に行きたいわね！　一所に行かない？　けれど美津子さんは學校の休みに一人でも來られるわ、こゝから上野行の汽車にのれば一本筋ですもの、上野公園へ行きませう、日比谷公園を一所に見ませうね。美津子さんの來るのを待つて居るわ。」

「え……きつと行きますわ。」

「名殘り惜しいわね」

美津子は汽車の窓から姉の時子と抱き合つて泣いた。時子も泣いた。

「美津さん、きつとね。」

「え、きつと………」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「二人の見合はする顏と顏とは、涙に曇つて居た。
「美津さん、簞笥の中のね、あの寫眞ね、きつと内密にね。」
「えゝ」
「名殘り惜しいわね、美津さんお身體を大切に孝行して下さいね。」
「え、姉さんどうぞお身體を大切に……折々お手紙下さいね」

あわたゞしく鳴る汽笛の音に、つきぬ名殘を惜しみつゝ、時子が母や叔母に別れをつげれば、姉時子を乘する汽車は、南を指して走り出した。夫の安勇さんも、窓より首を出して一人一人に別れをつげる。美津子の眼には涙が一ぱい宿つた。そしてとめどなく頰を傳つて流れる涙に濕つたハンカチをふれば、時子も同じくハンカチをふる。夏の朝の青空に浮き出て、土手の上を通り行く東京行の汽車の窓には時子の白いハンカチと、夫安勇の黑い山高帽とが少さく少さく消えて行く。斯うして今まで仲よくして居た、美津子と姉の時子とは別れて仕舞つた。そして彼女は云ふに云はれない淋し味を覺えて、首をうなだれて、見送りに行つた母や叔母と家に歸つた。彼女が家に歸つて、いつも二人で勉强した、靜かな書齋の机に向つた時、彼女の心に絶え得られないやうな淋しみの情が一時に湧いて來たので、机の上にひれ伏してしくしくと泣いた、書齋の南窓に据えてある美津子の机と並んだ、とりのこされた時子の机の上には、一輪ざしのダリヤと、時子の使つた處女讀本の一冊とが淋しくとり殘されてあつた。

北國の町には連日暴しの風雨の日がつゞいた。蜀黍畑を吹き折らし、桐の枝をへし折つて激しい風が吹く。空には雲が走る。斯うした日が四日も五日もつゞいた。町はづれを流れる笹糸川の氾濫とかで、町の人々は騒いで居る。警鐘はうちならされる。何につけても美津子には姉の身の上が案じられてなら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なかつた。彼女は母と相談して早速姉へ手紙を出した。そして洪水はないかと尋ねてやつた、返事は五日程して來た。見ると美津さんのそれほどまでに案じてくれるのはうれしいが、東京には洪水の心配はないから安心してくれろと書いてあつた、そして色々時子が美津子や其他家族のものと別れて、郷里を離れた時の感想や、廣い東京に着いて、大きい建物のあるのと、電車や人通りの喧しいのとに驚いたこと。東京に住むようになつてからのありさまが、細々と書きつらねてあつた。そして東京といふ所は、田舎に居て想像する程よい所ではないと結んであつた。然し同じく盲目的に都に憧れて居る美津子には姉のいふ東京は田舎に居て想像する程よい所でないといふのが、どうしても信じられなかつた。或は姉が自分が東京へ行きたがらないやうに、斯う云つてよこすのではあるまいかとさへ疑ひました。それは無理もない話である。美津子の頭にはいつも東京へ行つて見たい、出來ることなら自分も姉のように東京へお嫁に行きたいとさへ思ふのであつた。それはある祭りの日の夕暮であつた、秋とはいへまだ土用明けの暑い時分なので、日中は割合に人出も少なかつたのであるが、夕風のそよそよと立つ頃から町は賑やかになつて來た。美津子の家でも祭りの事であるから、晝湯さへ立ていつになく夕飯も早く濟んで湯上りのまゝ、家族うち揃つて、涼み臺に涼んだ。いつも暗くなるとすぐ眠たがる弟の吉彌も、今夜許りは元氣よく遊び戯れて居た。宵になると隣の荒物屋の松さんといふ、でつぷり太つた人と、丈の低いころ〳〵したおかみさんのお周さんとが、涼み椽臺へ話しに來た。この荒物屋のお周さんといふ人は、昔若い時、東京に住んで居たことのあるとかで、よく涼み臺へ來ては美津子と話し乍ら、姉の時子の事を聞き聞きした。そして九段の坂が廣いの、宮城の廻りが幾里あるの、上野公園がどうの、淺草公園がどうのと、若い時分見聞した思ひ出や感想等を話し、「お時さんは幸福た幸福だ」等といつた「だつけど

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

東京はいやなところもあります。」など、何か惡い夢にでも襲はれたやうな顔つきで云ふこともあつた。

下町の方が大變騒々しくなつて來た。金棒をつく音、揃つて歌ふ歌の聲、それ等が和して賑やかに聞える。騒々しい人聲がわい〳〵、そのうちに太鼓や鐘の音が鳴り出した。人通りは一層多くなつて、肩をすり合つて行き來して居る。花車が來るのである。路傍の涼臺に居る人々は、皆一齊に立ち上つて、前へ來かゝつて居る花車の上を見た。花車の上には、花飾りがしてあるあたりから、赤い提灯が幾つとなくぶら下つて居る。その下には萩模様の揃ひの湯形地の着物を着て、襷がけに赤い揃ひの鉢卷をした町の若い衆達が、額に汗をにじませて、一生懸命太鼓や鐘を叩いて居る。彼等の後には、神武天皇か何かの飾付けがあつた。花車は後から後へと、三つ續いて來る。二番目に來た黄色い襷の中には、美津子の弟の吉彌が得意そうな顔で美津子や母の方を見て笑つて居た。美津子は過ぎて行く花車の上に、無邪氣に坐りこんで居る弟の吉彌を見送つた。

「美津子さん、今晩は……」

ふとふりかへつて見ると、それは日頃學校友達の中で最も親しんで居る八重子といふ、同じ町の質屋の娘であつた。美津子は八重子の手をとつて「今晩は」と嬉しさうに云つたが二人は、そつと騒々しい表を避け、裏へ廻つて、美津子の家の庭園へ出た。そこには表裏の騒々しさにひきかへて、靜な木立の間々にある叢には、秋虫の聲が悲しそうに鳴いて居た。藤棚の下から空をすかして見ると、澄み亙つた空に天の川がありありと見え、無數の星が夢見るようにまばたいて居つた。

「人間てつまらないわね、八重子さん」美津子はふとこんな事を云ひ出した。そして、甘へるように八重子の肩によりかゝつて、シク〳〵と泣き出した。それは鈴虫の鳴くのを聞いて、周圍が靜かでもあり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

八重子といふ親しい友達の前なので、急に姉に別れて以來の淋しいといふ常々の心が、高ぶつて、泣きたいような氣がして來たのであつた。
「美津ちやん、どうなすつて？　お氣分でも惡いの……え」
「い丶え………」
と云つたまゝ泣き出した。
「どうなすつて美津ちやん、どうなすつたの？」
八重子のしきりに慰むるに、美津子はうれしくも思ひ、又自分は八重子の側に居るのを幸に甘へて、その慰めてくれるのを豫期し、急に泣きたくなつたかのような氣もし、八重子に對してすまないといふ氣がしたので、急に機嫌をとりなほした。
「妾急に何だが悲しくなつて………もうなほつたのよ。」
「そう、嬉しいわ。」
美津子はなほ何となく八重子に對して、濟まないといふような氣がしてならなかつた。その悲しみが、何故起つて來たのか、その泣きたくなつて來た刹那は、美津子自身にも、判然とは意識出來なかつたのである。美津子が機嫌をとりなほしたので、二人は肩に手を掛け合ひ乍ら、藤棚の下を通りぬけて、庭の眞中にある小池の淵へ佇んだ。そこにはさゝやかな、二人がけのベンチがあつたので、二人は、申し合せたやうに、その上へ腰を下した。池の鯉がピチャリ音をたてゝ泳ぐのが闇を通して見えた。二人は大空に亙る天の川を眺めて、色々の話をつゞけた。美津子の頭には、昔小學校で齊藤といふ先生から聞かされた。七夕の傳說が、ふと浮んで來たのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「あなた今に結婚なさるの」

「知らないわ、どうして………」

美津子の頭には、姉の結婚によりて、結婚といふことが、深刻に不可解のものといふ刻みつけをされたのであつた。それも朝夕寝食を共にして、永久に離れることのないように思つて居た美津子に對しては時子の結婚が、大なる打擊であつたのは無理ならぬことである。それほどまでは彼女に、姉に離れるのが淋しかつたのである。それにひきかへて、八重子は質屋の一人娘なので、姉妹の情といふようなものは、實際に體驗したことがなく、家中からチヤホヤされて育つたので、陽氣な性質であつたから、美津子の眞の心持はどうしても知ることが出來なかつたのである。そして結婚によつて、打擊を受けたといふこともなかつたので、結婚といふことについては、少しも考へて居なかつたのである。

「人間て結婚しなければならないのでせうか？」

闇をかすめて空飛ぶ時鳥の二聲三聲いと悲しい。八重子は空を仰ぐ、美津子は俯いて、八重子の膝に顏をうずめた。

リーン、リーン、リーン、チンチロリ、チンチロリ、秋虫の歌の聲々、靜まつた祭りの里には、自づからなる自然の音樂が打ちつゞいた。二人はしばらく無言で居た。美津子は涙に濕つた眼を上げて、空を眺めた。が、然し鳴き過ぎた時鳥は影もない、たゞ天の川のみが光つて居た。美津子は天の川をへだてゝ、牽牛星と織女星とが、一年に一度會ふといふ傳說を思ふ度に、昔小學校で、その話しをしてきかせてくれた、齊藤といふ先生を思ひ出してならなかつた。丁度七夕の傳說と、齊藤先生と、何か密接な因緣でもあるように。八重子は云つた「妾まだ一度だつて結婚などゝ云ふことは考へて見たことはなくつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てよ。」美津子は、姉がお嫁に行つてから、急に淋しくなつたので、姉の時子が結婚などせずに、いつまでも一所に暮して貰ひたいと思つたこと等をつげた。「だつてそれは仕方がないわ。」と、八重子は當然肯定しなければならぬものゝように云つた。美津子は淋しそうに暫く無言で居たが、深い谷底から助の綱でも求めたように、八重子に抱きつき乍ら、「二人は一生仲よく暮しませうね。……」と云つた。そしてその夜は、十時過ぎ頃別れた。美津子は、二階の書齋に入つて、ぼんやりとなすともなく机の前に坐つた。耳もとに蚊が一匹ブンブンと悲しく泣くのを聞きつゝ又急に淋しくなつたので、急いで床についた。

斯ういふ事があつてから、美津子と八重子の間は、だん〱睦じくなつた。やがて、三年の年月が過ぎて、二人は共立女學校を卒業したのである。此頃美津子の心が變つて居た。八重子が養子を迎へる。その年美津子はこの北國の町で一流のある糸屋へお嫁入りしたのである。彼女は斯うして、八重子と會ふ機會もなくなつて仕舞つた。朝に夕に八重子と一所に暮した學校生活が思ひ出されて、急に八重子に會ひたくなつたりした。姉からも、月に二度位は音信がある、八重子とは毎日のように手紙のやりとりをして居た。然し彼女には、今家庭の樂しみが覺醒めかけて來た。彼女自身も、今は、姉に離れた當時の淋しみと、八重子と別れた時分の悲みとが、夢のように一幅の畫帖となつて追憶だされるのであつた。それは美津子がお嫁に行つた翌年の菊さく秋の日であつた。久しぶりに時子が歸郷したので。美津子も一日の暇を貰つて家に歸つた。姉の時子は、もう一人の可愛らしい赤兒を貰けて居た。二人は昔なつかしの書齋（今は吉彌が中學へ行くのでその書齋となつて居た）で、心ゆく許り語り合つた。姉の歸郷は思ひがけなく美津子を喜ばせた。それは姉夫婦は東京の病院の方を辭めて、この北國の町で醫者を開業することになつたのである、そして、二人は毎日のように會ふことさへ出來た。然し、二人の情は昔日のそれとは異つて居ることは、時子にも美津子にも否むことが出來なかつたのである。（をわり）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

豆腐賣りをした女學生

松崎ひろの

◎貧しき家に

これは實際にあつたお話ですが名前だけは別の名にして、假に雪さんとして置きます。

雪さんは、△△縣△△驛から汽車で一時間ばかり離れた田舍町に豆腐屋を營む豐ならぬ家に生れましたが生れつき大變に賢明で、非常に身體が丈夫でありました。

兩親はあまり教育もなく、多勢の妹や弟を育てる事と、これだけの家内を養ふために渡世の豆腐業に追はれて子供の事に就いて深く考へる暇もありませんでした。

けれども雪さんは素直に育つて、學校の成績はいつも一番ばかりで、近隣の人も驚く程感心な娘さんでありました。さうしてだん／＼成長するにつけて四人も五人も妹や弟が出來て兩親が貧しい生活に追はれて子供の世話をする暇もないのを見かねて、普通の人が友だちと遊びに耽つて居る暇に家事の手傳ひや弟妹の世話に過し、忙がしい中にも他の友だちに後れじと學問の勉強に勵みました。

苦しい中に勉強する人の眞心は神に通じてか、人より勉強する時間の少い雪さんが、熱心の力で誰よりも成績がよく、生活の貧しい家庭の事情を知つた先生すら惜しい惜しいと高等小學校まで無理に雪さんをすゝ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

めて勉強するやうにして下さいました。

◎豆腐賣りをしてまでも

品行方正、學術優等の雪さんは美事一番で高等小學校を卒へましたが、尚も進んで女學校に入學し、學を以て身を立てたいとの希望で、殆んど命がけの決心を以て先生方の力で兩親の心を動かさうとしました。

もとより兩親の許可を得られやう筈もなく

「こんな貧しい家の娘が女學校に行く必要はない」と一言のもとに拒絶されましたのを

「私は苦學をします、豆腐を賣つて學費を作りながら勉強します」

と涙乍らに頼みました。

健氣な雪さんの希望は周圍の人を動かして、遂に縣立高等女學校の入學試驗を受ける事になりました。試驗の準備と申しても世間なみの少女のやうに、兩親に種々便宜を計つて貰つて勉強するのと違ひまして、朝は暗い中から起きて豆腐を肩に擔いて町中を賣り歩き夜は遲くまで勉強するのですから、到底普通の人の堪へらるゝ苦しみではなかつたのであります。

もとより成績のよい雪さんの事とて、見事に選拔試驗には合格しましたが、「さあこの先をどうしやう」心配が先に立つて、世の娘さんたちは、得意になつて、兩親にさま〳〵の要求をする此際に、雪子さんは、入學の喜びと共に學費に對する不安が、先づ小さい胸を苦しめました。

「世の中は努力次第だ、どんなにしてもやり通して見やう」

といふ確い決心が雪さんを強くして、汽車で一時間もかゝる△△市まで通ふのてさへ容易ならぬ苦しみですのに、尚汽車の時間に間に合ふ限り、毎朝豆腐を賣り歩きました。苦しいけれども希望に充ちた努力の一年間はすぎて、女學校でも首席で二學年にすゝまうとする間際に雪さんは非常な悲しみ、非常な恥辱のために遂に通學する事が出來なくなりました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◎父母の不心得から

こんな模範の少女を持ちながら、雪さんの兩親は本當に不心得な人でありましたので雪さんにとつて、譬へやうもない恥づかしい事が起りました。

最も忌はしい最も卑しい賭博に耽つた雪さんの兩親は警察の目さへ逃るればといふ淺果な考へから、日毎夜毎に雪さんが泣いて止めるのも聞かずに仲間の人と引續き賭博に耽つて居ました。

或時△△の警察署に三十人ばかりの賭博犯人が捕へられて、珠數つなぎの網笠が△△驛から、監獄に引かれました。あゝその中に雪さんの兩親も交つて居た時雪さんの胸はどんなでしたでせう。

毎日樂しんで通ふた女學校の隅から隅までこの評判が擴がり、家には四人も五人も小さい弟が一時に父母を引かれて泣いて居る、さうして同情を寄せてくれる人は一人もない、もう雪さんの胸は恨みと悲しみて充たされて、十五歳の乙女にはあまりに殘酷な神の笞に泣き入るのみでありました。

學校も退き父母を失ふて泣く小さい弟妹を慰めながら健氣にも十五の細腕で豆腐を作る雪さんの心持を思ふては、氣の毒に思ひながらも、天罰としてその兩親を憎む人の方が町中の大部分を占めて居ました。

縣下の新聞紙が筆を大きくして「大賭博檢擧」の記事を載せた際、公判の折傍聽席に眼を泣き腫らした長女雪子に對する同情の一句はどれにも書き添へてありました。

「かうならぬ前に止めて下さればよかつたに……」

と雪さんは夜となく晝となく泣きつゞけたでありませうが、もう事すでに定つた人は、孝子の涙を以ても救ふ事が出來ず、模範少女雪さんの兩親は赤い着物に恥をさらす身となつたのであります。

◎一家の責任を負ふて

同じ父母を失ふにしても、死に別れとか、又は遠くへ出稼ぎといふのなれば、如何に苦しくとも忍びやう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

もありませうに「賭博者」の汚名のもとに夫婦揃うて赤い着物を着せられた父母の留守中、とりかへしのつかぬ汚辱に泣く娘のあはれさはとても筆にも口にもつくされるものではありません。

同じ町の小學校に通ふ幼い子供たちが、「賭博者の子よ」と友だちにそしられて相手にしてくれる人もなく毎日泣いて歸つて來る樣を見て長女と生れた雪さんは死ぬより辛い思ひを繰りかへしたのであります。

一方には多勢の弟妹を養ふべき生活の道も考へなければならぬ、精神的にも物質的にも此上もない苦しみを受けつゝ、尚氣強く豆腐賣りをして、幼い弟妹を育てゝゆく雪さんの健氣さに泣かぬ人とてはなく、

「毎日夕方になると小さい弟さんや妹さんや四人も五人もつれてお湯に行く姿はまるでお母さんのやうで、氣の毒なやうです」

と小學校時代からの友だちから傳へ聞く度に誰も皆同情の涙にむせぶのでありました。

◎父母の改心

かうした悲しい月日はめぐりめぐつて、雪さんの兩親は懲役をすませて、再び我家の人となりました。

萬苦に堪へた雪さんの力でやう〳〵に露の命をつなぎ止めた、子供等の可憐な姿を見ては、さすがの兩親も、心から涙をながして前非を悔い

「すまなかつた〳〵」

と雪さんの手をとつて、すつかり心を入れかへて、眞人間になる事を誓ひました。

それから兩親は力を合せて働き、子供の敎育にも盡すやうになりまして、一家内には平和の風が漲つて、一日一日と幸福の光が訪づるゝやうになりました。

さうして、雪さんの健氣な行爲は縣下の評判となつて、同情ある人の助けで、縣立女子師範學校に入學して、好める學問をする事が出來るやうになりました。

四年間の勉學は一並以上の努力で、雪さんは立派な成績で師範學校を卒業し、今では模範の先生として多くの生徒に慕はれてゐます。

玉は砂礫にまじつて人に見出され、秀才は多く陋巷に生れて自ら人にぬけ出でると申しますが、雪さんは全く砂礫の中より選び出されて、國の寶となつた貴き玉と申されませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

覺え書き

西瓜の皮を利用せる漬物

西瓜を食べた時の殘物になつた皮は、表面の堅い部分を庖丁で除き、糠味噌に入れて三時間位過ぎた時、とり出して食べるのはよくある事ですが、又これを漬物にする事も出來ます。

西瓜の皮の硬い部分を去り、大きさ三分位の賽の目に細切し、一貫匁につき其重量の二割五分、卽ち二百五十匁の白砂糖を混ぜて、一時間ばかり置いて、滲出した汁を集めて半分に煮つめ、之に酢四合を加へ、更に全丁香二匁を混ぜて、沸立たせ、冷えてから皮に注いで三時間經つてから戴きます。

西瓜の皮の一旦漬物としたものは貯へるのが困難でありますけれども、このやうな方法によりますと、割合長く貯へられます。これは一つには使用した酢の作用にもよりますけれども、又一方には全丁香から滲出した殺菌效力ある成分も效をなして居るものであります。

甘藷の砂糖漬

甘藷を原料として、之に砂糖を掛けた御菓子の種類は澤山ありますが「武藏野あられ」と云つて菓子屋に賣つて居るのを記して見ませう。

其原料は甘藷で、製造法は先づ甘藷の皮を剝いて、後大小不同のないやうに、二三分位の大きさの賽の目に刻んで、油で揚げます。

胡麻の油で揚げる時は、どうしても軟らかくて、甘藷がくづれ易いから、砂糖漬にする時、あまりかきまはしてはなせまりん。

南瓜の歷史

南瓜は原産地としては、北米や印度、其他亞細亞の南部及亞弗利加などでありますが、今日栽培せられて居るものを大別して、東洋種と西洋

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

種の二つに分ける事が出來ます。そしてその東洋種は之をボウブラとタウナスの二種に別け、西洋種も亦ポンキンとスクオーシと別ける事が出來ます。

東洋種は其の名のやうに昔から東洋で栽培したもので、私共が此頃食して居るものであります。これは天文年間に東印度のカンポチヤ地方から西洋人によつて、豐後大友宗麟へ獻上せられたものだと云ひます。又新井白石の著書に「享保年中までは市に賣らず稀に庭園などに植うる人があつたが、毒物などゝ云つて食べない人が多かつた。一般人が食べるやうになつたのは、天文の始めからである。又一説には寛永年中に薩摩に渡り、世に弘まつたと云ふ事である」とあります。

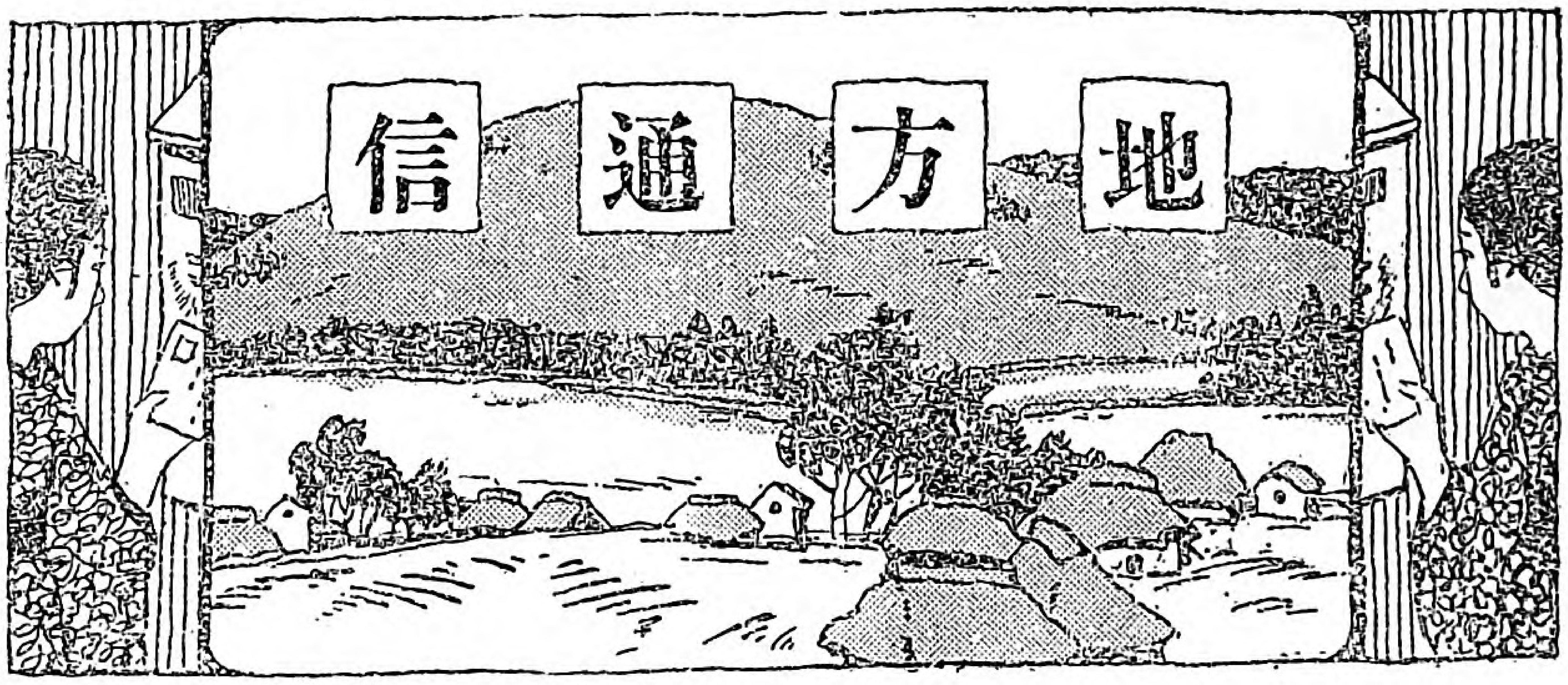
◎農民の味方

峰田一歩

暑いと云ふて避暑に行き、寒いと云ふて避寒に出かけるのは普通の人であるが人の爲めとか、社會の爲めにとか働かうと云ふ者には、普通人の眞似をしては居られない。私は七月十五日に神奈川縣橘樹郡稻田村を振出しに巡回講演をして居ますが、神奈川縣は御膝元でありながら、私の巡回した十ケ村には處女會が生れて居ないので誠に物足りない樣な感がした、故に各村共講演會の時に過般廣島縣加茂郡の處女大會の時に小黑瀨村の藤原新子さんが申された「吾々のヒビトアカギレは命珍勳章ナリ」と云ふ御話を傳へて處女の元氣を鼓吹して居ますが、各地方共靑年會がある以上は處女會の一日も早く生れるのを御進めします。私が目下巡回して居るのは靜岡縣駿東郡ですが、此の郡は古澤俊次と云ふ熱心なる郡長さんが靑年と處女の爲めには三度の食事を二度にしてもと云ふ勢で努力して居るので、殊に揚原村の我入道は會員百五六十名あつて會員には土地の有力者で間野周子さんが盡力して、其郡佐役副會長格で沼津町の駿東高等女學校校出身の岩崎愛子さんが、自身で各會員の家を訪問されて秩序の正しい婦人となるには皆が夫々仕事に忠實でないといけない。是からの處女の立場は餘程責任が重いから時々刻々と會合して識者の御話なんか聞いて大に村の覺醒をしなければならないと、此の暑いのに帳面を持て西奔東走して居られる。私も實に愉快に感じたから愛子さんに會見を求めて、處女會中央部の話をして、益々郡會の處女と農村の處女と智識の交換をする樣に話して置いた。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



費用を淸き勞働より得て

静岡縣　岩松村處女會

私共の處女會では、七月に敬老會を催しましたが、其經費の補充として茶摘作業を試み、全員四十名にて、二日ばかり努力の結果、この淸き勞働より得たる摘賃二十圓をその費用といたしました。(口繪參照)

光ある金

福島縣耶麻郡長瀬村白幡處女會

私たちは去年の八月生れたばかりの、まだ幼い會であります。會員は二十五人程有りまして、一致共同の精神を以て、互ひに助け合つて居ます。

基本金と申しては僅か四圓ありますばかりですが、この金が光りある金であります。

と申しますのは當區の青年團が鎭守白幡八幡宮に村中安全を祈るため、五反旗を奉納する事になりましたので、其の旗を我々が發會式の日に、第一の着手事業として、閉會後縫いましたので、一つは發會式の御祝ひ、一つは御禮として金二圓を頂戴したわけで、發會早々から基本金が出來たわけであります。

殘りの二圓は今春當區の原元の母校の趾で當長瀬小學校の春期運動會が行はれました。其際當區青年團と共に全會員早朝より、兒童の世話や色々とお手傳ひ致

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しました。又我々も共に運動をやりました。其中でスプーンレースが一番見事でした。校長先生始め村役場員職員一同樣のお賞めに預り、金二圓を基本金として下さいました。我々の喜び何にたとへてよいか筆紙につくす事が出來ません。

この金は貯金して益々增積につとめて居ます。

樂しかりし日

愛媛縣喜多郡河邊村處女會員

私共の會では去六月十一日午後一時より臨時總會を開きましたから其模樣をお知らせいたします。丁度舊節句の前の日定刻に遲れぬやうにと急いで學校へ參りました所すぐ大部分の會員はお揃ひで、一時間も前から來て居られる方もありました。

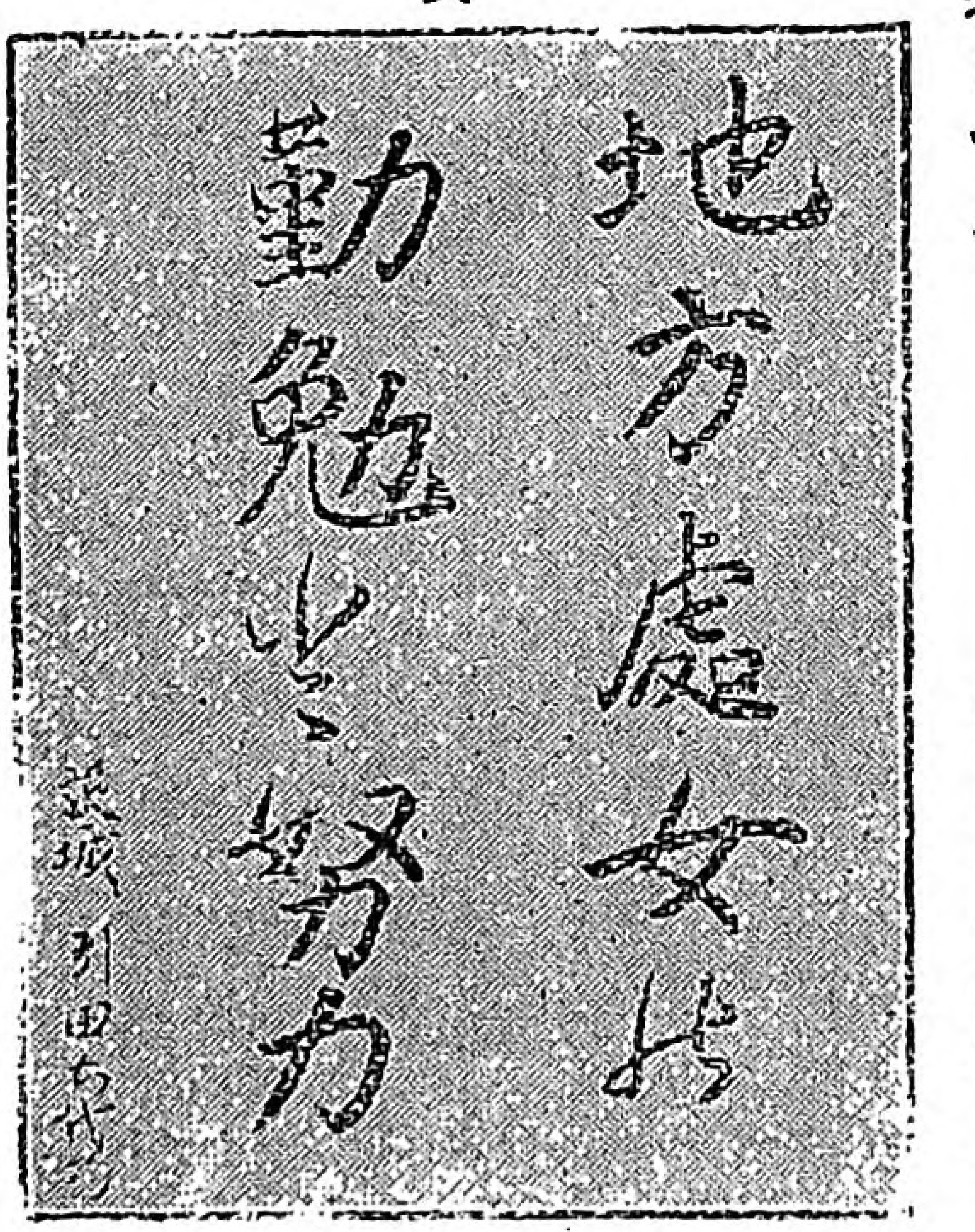
日程通り滯りなく致しましたが、會長東先生の御訓話、總理岩井校長先生の魚の話、瀧彌先生の東宮殿下御渡歐の御近狀など何れも心から熱心にお話下さいましたので、一同は身にしめて謹聽しました。

協議に於ては裁縫講習會につき、特に今回は體操及び學科に重きをおく事、販賣デーを一日設け、會長樣はじめ一同手わけをして、近村へ種々雜貨物を賣り歩く事などが重なもので其外色々有りました。

東瀧彌先生御指導のもとに、隨分烈しい體操を致しまして、肋木などにもかゝりました。

それから近頃會員が非常に熱心に讀書するやうになりました結果當日の茶話會の折など色々な題目のもとに婦人の自覺或は農村の幸、勤儉なるべき事などスラスラと見事に話しました。

賞



茨城縣　引田ちよ代の

處女會を開きました

靜岡縣志太郡徳山村地名

栗原吾一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

愈々當地にても去る七月十九日發會式を擧げました會員三十五名、會長は村内にて一番處女諸姉の尊敬して居る宮下清太郎氏副會長としては、青年團と相提携する目的を以て、當地青年團長山下廣氏、幹事、評議員は處女會員中より選擧しました。

然し將來は青年團の如く自治團體と致す考へです、それで當日機關雜誌として、色々の說が出ましたが、皆處女の友を購讀致す事となりました。

天幕講習會

廣島縣沼隈郡役所

村田靜太郎

地方稀に見る所の男女混同の講習會を開きました。

會場は沼隈郡田島村大浦海岸で恰度須磨舞子に見るやうな美しい景色を眺め乍ら、七月二十九日より八月一日まで四日間地方の中堅人物となれる青年指導者並びに處女會指導者等集りて次の問題に就き講義を聽きました。

一、講習科目並講師

一、人生問題　法學士　山下信義先生

二、信仰問題　同

三、婦人問題　同

四、一事貫行　同

誌友の面かげ

長野縣　本持きり子（右）

五、家產財團論　同

尙科外講演としては

廣島每日新聞主筆　前田三遊先生

三原女子師範學校長　北川鯉一郎先生

沼隈郡長　深瀨　昇氏

沼名前神社宮司　秋岡　保治氏

其他國民體操、家庭體操、水泳、音樂等の指導をうけました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞工夫文發表

題　蚊　孫
　　舌　水

一等賞　滋賀縣　中川　白鶴

水浴びて蚊をはらひつゝ孫たちに舌切り雀の話するぢゞ

二等賞　群馬縣　高木とよ子

初孫と可愛がらるゝ家の坊やほんとにおいたをしてこまる今も今日とて金魚鉢の水をひつくり返して母さんにお灸をすゑると蚊やり線香出されいたい〳〵とまはらぬ舌で泣いて皆を笑はせた

三等賞　福島縣　板橋　溪月

弟の孫市は母の買置きし蚊取り線香を嘗め苦い顔して、舌を出して水を早くと泣いて居る。

賞外　群馬縣　優　香　子

蚊は滞水から湧くのであらおとなりのお孫さんが其水を舌を出して飲まうとした。私は其を見て止めてやつた。

京都府　山内ふさの

水藥も孫のみとりに舌づゝみ蚊追ひやりしあはれなろかな。

埼玉縣　荒井ろく子

蚊のなく聲の暑くるしい夕べ、祖母は泣き入る孫をなだめるために、舌切雀のお話をして居る、側の池の水の面には螢が二三匹飛んで居る

山口縣　宮本義子

蚊取線香のゆるく流るゝ夕涼みの時、水も呑まず舌の色もかへて病に苦しむ愛犬の筋が出た死ぬかも知れない、私は淋しい氣がした。何も知らず持主の孫は少さい寢息を立て居る。

埼玉縣　山崎千代子

舌切雀の話の終へた頃幼兒は孫にやさしい祖父の膝に安らかに夢路をたどる。後は蚊を追ふ祖父の忙がしげな團扇の音のみ、暫くして背戸に母の水汲むつるべの音が。

福島縣　霽光

へんぷくりんの　お孫さん
舌をうち〳〵　水をのみ
蚊に口さゝれ　泣き出した

選外佳作

長野縣神通川さき、鳥取縣小原しげ子、岐阜縣篠田利子、神奈川縣百合子、福島縣詩の花、香川縣石川もと子、福島縣富田喜美子、岐阜縣丹羽芳子、埼玉縣仲津子、神奈川縣山口幸子、埼玉縣大舘たつ子、滋賀縣本持庄太郎、埼玉縣清水磨津紫、長野縣丸山敏雄、山梨縣すみれ、福島縣國分みよ子、群馬縣橋本夢見草、北海道白百合、岡山縣島田かよ、香川縣白蝶、石川縣正田光枝、群馬縣池田榮子、長野縣瀧澤やよ子、福島縣大内さめ子、埼玉縣竹内貞子、群馬縣柳岡都子、宮城縣白鳥、福島縣齋藤小春、福島縣佐藤浩、東京府四海千代子、德島縣佐藤ゆきゑ

選者より

工夫文の投書があまりたくさんありましたので、選ぶのにずいぶん骨を折りました、どれもこれもよく出來て非常に滿足に思ひました。これからもます〳〵試みて皆さんの思想を練らるゝ一助としたいと思ひます。

懸賞工夫文新題

露　月　郷

〆切九月廿日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

我が家

埼玉縣　淺見ハミ子

（賞）

裏の山から深緑の淸い風は晩餐の食卓の上を拂て、今更の樣に夕の涼しさが湧いて來た。夕餉がすむと皆柳の木の下に涼みに出た。眞暗な中に五ッ六ッ、螢がピカリ／＼と光て居る。

螢こい／＼と、言ふ聲が聞えて來た。誰れだらう？茂さんだ、と弟は聲のする方へすぐ飛んで行つた。

ざー／＼と流れる水の間に／＼蛙の聲ものんびりと聞える。

その眞似をする妹が、コロ／＼などと云のが可笑かしい。吁あの蛙は樂しからう。水も蛙も樂しいだらう。妹も樂しからう。私しも樂しい。一ッも捕れなかつた、と弟はしぶ／＼歸て來た。母の側に抑向に寢て居た、夏子は急にげら／＼と笑ひ出した。何か可笑しいのだらう。？續く

評　すらりとした書きぶり

（賞外）

東京府下　岡部秀子

十日頃の月が今南村の森の上へ昇つたところで所謂照もせず曇りも果てぬ朧夜の空模樣に山も淋しい人家も一樣に素鼠色の露の夜を籠けて小川の流るゝ水が眠さうな音にきこえてゐる私の家には兩親兄と妹の五人暮で御座います師範學校に行て只今夏休みできてゐる兄と妹の近ちやんと三人で散歩に出た兄ちやんいくつ寢て行の今近ちやんの年だけ寢て起きれば行くのよでは六ッだわれ(私)こんど學校へ行つた時はめづらしい、本を送つて頂戴れ近ちやん何がよいのされ、ゑのついた本がよいわ近ちやん姉さんの處女の友を借しましようか嫁よ姉さんのはゑがないから西には紫の光を放た星が美く澤山瞬てゐました

福島縣　土屋詩花

脊黑い森の一つ家に。病む父と。老祖父。私と幼い、弟妹とが、寂莫たる生活をして居る。朝祖父と鍬を手にして野に出で。夕方默して歸つてくる。いつも憂愁に滿ちた、私の細い讚美歌と。子供等の歌が。微かにもれる外。音づれる人も無い。自然のみは之の貧し家を。忘れずに訪ふて。今年も最早夏らしく。老杉の緑增し。月見草咲く頃と成つたが。心の奥は依然として。冬の樣である。この淋しい家庭を少しでも樂しい處にしたいと。日夜神に佛に祈りつゝ。哀れにも少さな努力を。續けて居る。「いと少さき者も神はすて給はず」と言を固く信じて居る。私の現在は幸福です。

岐阜縣　竹腰よそ枝

優しい父にしつかりした姉かうした中にたゞよう私の家庭は絶えず或る嚴格な氣分が滿ちて居ります。周圍は果物の木に包まれて、軒を流るゝ谷川の水も、今日此頃ではひとしを涼しく感じられます。開け放たれた部屋ぬちへは爽やかな風が四季折々の花の香を送つて呉れます。見る影もない破家ですけれど惱ましく暮す事の出來得る我が家は幸福でございます。月を眺めては花を愛しては拙い乍らも歌に文に口誦むのを唯一の樂しみとして居ります只何となく淋しさを覺ゆのは尊い母の愛の無いこと、三十二歳のうら若い身で永眠された母想ふさへ胸がふさがりそうです。

投稿の規定

（作文）
題　異郷の兄に（手紙文）
二十字詰　十六行以內用紙半紙

（和歌）
題　隨意　三首以內　用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

（俳句）
題　隨意　一人三句以上用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

（習字）
半紙一枚に字數隨意

（圖畫）
少女の繪、景色畫
用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

投書の注意

（一）同じ紙又は同じ端書に幾種類も書かぬ事、それ／＼別の紙に書いて、和歌、俳句、考へ物、誌友くらぶ等と明らかに書く事、住所姓名を明瞭に書く事。

（二）郵便切手を上手に使ふためにハガキ大きさの紙に別々に書き同じ封筒に入れて開封にする事、開封なれば二錢切手、封書なれば三錢切手を貼ること

（三）締切は毎月十日、宛名は東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女俳壇

（賞）

短冊は天の川にて終りけり　埼玉縣　山崎千代子

病める子の日毎に重るきり〳〵す　長野縣　橋本きえ子

（賞外）

弟のらく書きしたる西瓜哉　福島　土田かつ子

まゝごとや赤ちやん雛とヂヤンケンポン　岐阜　水色草

朝まだき工場の笛や町靜か　山梨　すみれ

さし出せば繪を先に見るうちわ哉　埼玉　佐藤ひろ子

夕顔の花一輪や薄月夜　長野　根橋しなゑ

舊湖池蜻蛉生るゝお宿かな　埼玉　増田ふみ子

草刈のかごに一本おみなへし　香川　石川もと子

七夕や細く優しき女文字　愛知　今井しげ子

句にならず胴の汗はらだらし　東京　松代子

しほらしき萩の姿や虫の鳴く　岐阜　竹腰よさ枝

桑つみて歸る野道や夏木立　福島　吉津園代

風吹けば漁家を見舞ふ螢哉　青森　小野寺みし

青葉かげ小笠につしていこひけり　山形　殿樂千芳

妹の野良着姿の愛らしき　神奈川　山下惠美子

笛の主たづねてみたき月夜哉　宮城　本城白島

臼かりに來て見に上る螢哉　神奈川　溝口クニ子

斜日に赤く染りし姉の額　埼玉　淺見ハマ子

田草とる乙女やさしや紅襷　同　大館たつ子

朝顔や垣根垣根をかこみけり　群馬　優香子

若草に箱の兎を放ちけり　長野　小澤やち子

處女歌壇

（賞）

天　福島縣　滿津江

麥刈の暑さもしばし忘るなり谷の眞清水汲みて飲む時

評　眞清水に乾き渇す脣に野の幸咲ふ里の乙女子

地　岐阜縣　淺野のぶ子

月見草にほふ川邊に我れ立てば紅緒の足に露こぼれけり

評　紅の露の玉ちる足元を流るゝ川に月の照るらむ

人　茨城縣　中山奈賀子

古寺のあたり靜かに日はくれてほのかに浮ぶ白百合の花

評　讀經の聲ゆるやかにひゞくらむ百合の花さくその庭の奧

（賞外）

○美の部○

片田舍家一つあり破れたる障子の中に子泣きてをり　長野縣　橋本喜惠子

雨の夜の淋しき街を歩み行けば山の祭の火のみゆるかな　東京府　岡部秀子

いく年か相見ざる間になつかしき友はいつしか母となりけり　福岡縣　行德葉蘭女

野良歸り清き小川のせゝらぎに小魚一つおどれるを見る　福島縣　河邊芳枝

畑打ちて憩ふ夕べの草の間に母のなさけの草もちを食ふ　福島縣　二瓶木枝子

ひとり來てひとりさまよふ小川邊の淺茅にまじる撫子の花　神奈川縣　山口孝子

ひれもすを一人默して針運ぶ友失ひし淋しき我は　群馬縣　大澤夜詩野

何事もぢつとこらへてなげかじと友は言ひけり夏の夕べに　群馬縣　池田榮子

美しう米とぎあげてすく〳〵と空にのびたる梢仰げり　埼玉縣　増田ふみ子

姉ゐます宮城の空を慕ひつゝ淋しく暮す山里の我　福島縣　富田まき子

めざめたる瞳うれしく朝顔を數へてありぬ幼き妹　岐阜縣　竹腰よさ枝

小波の磯打つ波の音きけば遠き昔のしのばるゝかな　忘名草

午後の日をあびて桑つむ妹の頬にはいつか汗の流れり　東京府　四海千代子

子供らの土産にせんと飛ぶ螢三つ四つ狩りぬ水車もどりに　東京府　大久保よし子

木魚の音寂しくと絶え山かげのねむの木の花今は眠れる　福島縣　古瀬美佐子

すみわたる利鎌の如き月うつる水面に動く田植るしづの女　群馬縣　すみれ子

夜は靜か物縫ひ居ればほつほうと鳥の聲淋し七月の宵　群馬縣　優香

秋の蝶行衞あはれと見送りぬ萩の花ちるたそがれの野に　埼玉縣　大館たつ子

我が心歌にもよめず泣きも得ずたゞあはれさの一しほおぼゆ　福島縣　矢澤美代子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

四ツ五ツ見ゆるともし火里の家　福島　植野貴美子
初成りやさうに納める茄子一つ　福島　滿津江
野風呂にて月拜みけり夏の夕　同　詩の花
鳴く蟬に汗しぼらるゝ暑さ哉　長野　野菊子
茄子取れば紫の露こぼれけり　群馬　橋本美代子
大根をまく我が影のながき哉　福島　日下芙美子
草取や水田に動く赤だすき　德島　佐藤ゆきゑ
鷄餌を探して雌とり呼ぶ　石川　正田利一
つゞれ縫ふ母すこやかに秋日さす　福島　目黒きい子
幼子の寢顏愛らしかやの中　長野　松葉
野の幸を歌ふて通る乙女哉　福島　大堀多喜美
星消えて小鳥目醒す夜明哉　東京　大久保齋子
青葉影うつして行くや夏の水　神奈川　山口孝子
すげ笠は田草取りなり村時雨　山口　岩本春一
大船の底も見えけり潮干狩　長野　今井百代
千草の甘きにほひや軒あつし　長野　塩田小蝶子
桑摘みのかへり路遠き暑さ哉　神奈川　山口愛子
朝顏やつぼみ三ツに花二ツ　三重　高本繁子
ほろ／＼とこほろぎ鳴くや光る月　東京　森川光平
田草取り汗ぬぐふ手の忙がしさ　長野　麻野美津喜
夕立のはれて忙しき蟬の聲　兵庫　野の花
吹き晴れて二百十日の草の月　神奈川　溝口呑世
白布を木陰に洗ふ涼しさよ　福島　花子
桑つみて歸る乙女の歌聞ゆ　群馬　池田米子
青葉がくれ赤き幟や秋祭り　東京　岡部秀子
名もしれぬ草にも宿る露の玉　群馬　設樂貞子
眞夏にも雪を冠れる富士の山　東京　白鷗
ほゝづきや幼き頃のしのばるゝ　鹿兒島　みどり
雨晴れて葉末に光る夏の月　岐阜　淺野のぶ子
盆まつり線香あげて涙哉　埼玉　新井はま子
朝顏のほの紫に殘るかな　福島　川越修子

此ごろは一きは目立つ草刈りの土にまみれし指の太さよ　群馬縣　橋本美代子

明日咲かむ蕾かぞへて朝顏の鉢に水やる弟愛らし　福島縣　詩の花

草食みて仔馬遊べる傍に馬飼ひの子の思ふ故郷　杉本輝子

無き親をたづねて泣ける三匹の小猫抱きて吾も泣きけり　群馬縣　愁花

振上げし鍬の柄先の貴さは汗と脂の光なるより　長野縣　伴在柳子

ザクザクと春の小川に米洗ふ肩にかゝれる桃の花かな　長野縣　今井百代

入日さす破れ垣根に咲にけり色も涼しき夕顏の花　神奈川縣　角田いち子

ほゝ笑みて今日も暮しぬ人のため一人悲しみかぎり知られど　富山縣　宇田蘋子

風なぎし夕暮どきの靜けさに白き夕顏淋しく見ゆる　高知縣　深草綠

茄子に夕陽のさして乙女子の手に持つはさみ時々光る　東京府　西海千代子

○良の部○

別るてふ小さき悲しみ胸に置きそと觸れて見る棕櫚葉つめたし　福島縣　日下芙美子

父母と呼べど聲なし唯獨り遠き異郷に淋しく居れば　秋田縣　齋藤ナチ子

夏の夜の更くるも知らで螢狩り草葉の露のすそを濡して　北海道　白百合

草取りの手をば止めてつと立てば涼しき風は頰を打つなり　靜岡縣　栗原思芽

妹と語りつ我は今日もまた此の梨畑で草をひく

かな　德島縣　佐藤ゆきゑ

古里を遠くはなれて我は今獨り淋しく友を思へる　長野縣　松葉

吾病めば小さきは寂しげに一人遊べり雨降る夕な　福島縣　夢の花

白百合を活けさせ給ふ姉上に我はいそ／＼水運ぶなり　埼玉縣　荒井はる子

遠空に旅立ち給ふ父のつゝがなかれと神にいのりぬ　埼玉縣　荒井ろく子

朝露をわけつゝ我は桑摘みぬ野の幸歌ふ今朝の涼けさ　福島縣　花子

畑うちのつれ／＼になくきり／＼す今日の暑さを汝は知らずや　香川縣　石川もと子

淸き野に蚊柱立てる夕まぐれ樂しく賤は家路たどれる　群馬縣　岡崎その子

我が好むダーリヤの花咲きにけり折りて捧げん父のみ靈に　鳥取縣　築谷あや子

草むしり疲れて立てば夕畑に早や夕露の白く光れる　神奈川縣　長野川菊野

女なればたゞ何事もおとなしうはいといらへて忍び居るかな　鹿兒島縣　みどり

あけ方のほの暗き庭より虫の聲あはれ淋しく聞え來るかな　神奈川縣　熊坂みどり

雨やめばダーリヤの花赤々と夕日をうけて風に揺らるゝ　埼玉縣　岡田春村

さふらんの花にもたれて眠るごと死に行く蝶のあはれなるかな　東京府　松代子

新らしき繪傘かゝへて喜べる幼子圍み笑ふ宵哉　愛媛。すみれ子

朝露に袖ぬらしつゝ田草取る乙女ゆかしき野の幸の歌　福島縣　佐藤鴨星

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うつとりと見入る目先を胡蝶とよ　愛媛　すみれ子
新らしき着物揃うて初田植　山梨　五味若代
夕すゞみ一日の暑さ忘れけり　島根　山根ふさの
朝露の光り涼しき田草取　香川　白鳥
吹かれ來てガラスにとまる螢哉　青森　佐々木りわ子
青き葉のすき間もれくる風涼し　埼玉　新井きくじ
日は暮れて野道涼しく風ぞ吹く　靜岡　秋子
雨にぬれ風にさらされ案山子哉　福島　矢澤粂廼
夏の夜もふけて涼しき月の椽　神奈川　角田いち子
顔の汗拭ふ間もない田草取　靜岡　石川しよう
繭を煮る手先暗き夜螢かな　山形　石黑こう子
新竹やポタリ〳〵と朝の露　神奈川　小菅柳美
明笛の遠音もゆかし夏の月　三重　高本繁子
行水に垣根にかけし浴衣哉　香川　野田カツヱ
賤が家に一筋のぼる朝けより　東京　柴田愛子
蟬の聲やみて夕月か丶りけり　群馬　橋本夢見草
桑終り夜は樂しみの處女の友　山梨　野中そう
ほつそりと伸びて見ゐたる野菊かな　石川　正田光枝
夕森や月待ち顔の月見草　北海道　白百合
幼な子の口きくさまの愛らしさ　長野　本木喜里子
夕暮に靜かにひらく月見草　香川　安西てる子
廣い野の草の陰なる菊の花　德島　河內きくゑ
尺八の遠音床しき夏の月　山梨　野中えとじ
夏の夕夕立晴れし青田かな　埼玉　母子草
谷間より水の音する夏の畦　秋田　齋藤なを子
夏の宵蚊にせめらる丶涼みかな　京都　片山たま子
夕立の後の涼しさ月一つ　福島　孤螢
夏の夕つかれ忘る丶湯浴かな　長野　月見草
雨やみて蟬の聲きく暑さ哉　大竹きな子
夏の夜や川の出ぬ間に螢狩　長野　白百合
草刈の友の袂に蕣かな　宮城　野菊

一つ〳〵植ゑゆく後を見返りつほゝ笑めるなり妹の顔　長野縣　本木喜里子
初蟬のこゑに夏とは知られけりしばしまどろむ我耳もとに　島根縣　山根ふさの
われ一人寂しき庭によろこべりよき友を得てよき姉を得て　香川縣　白蝶
綠葉にたゞよふ風も心地よくいそぐ山路に日ぐらしの啼く　神奈川縣　山下惠美子
白露を踏みつ草刈る乙女等の胸にすゞしく朝風の吹く　群馬縣　喜代能
みだれ伏す萩の小道の露ふみて母のみ墓にまうでけるかな　安江すえ代
思ひ出は母のかたみの此單衣我着し姿母に似しかな　福島縣　勢喜子
玉と澄む小川の水に影見せてやさしく笑める白百合の花　福島縣　深山のしづく
愛らしき妹の歸る夏休み樂しく暮らす海岸の宿　福島縣　平澤恭子
山道や登る朝日に影浸す暑さを思へば秋ぞなつかし　愛媛縣　大野とめ子
美しき悲しみの玉抱きつゝ歎くが如き若き心よ　長野縣　北山松ヶ枝
なんとなく浮世をひがみさすらひの子のごと思ひかなしかりけり　山梨縣　すみれ
夜は更けて淋しき道をとぼ〳〵と歩みけるこそ悲しかりけり　北海道　伊藤波津根
母逝きて淚に濕る我家に名知らぬ虫の高く鳴くかも　埼玉縣　淺見はま子
我ひとり登りて見ればこの山の麓のかたにほとゝぎすなく　福島縣　橋本好夢
背戸の森に月は登りぬ夕餉をへて門田のほとり夕涼むころ　福島縣　土田かつ子
眼に近く甘く匂へる石竹に露臺明るき夕ぐれの雨　長野縣　小澤やち子
我が庭にやさしく咲きし草花の雨にうたれていと哀れなり　福島縣　富田喜美子
初夏の風うろほひて流れたり柳並木のあけがたの月　東京府　岡部秀子
梅雨晴れ間幼き頃を偲びつゝ柿の散花今日もはきけり　福島縣　植野貴美子
幼兒が諸手伸ばして傾けし芋の葉すべる露のさやけし　靜岡縣　淺井濟香
淋しさに夕日あびつゝ歸り來る野道にひゞく夕暮の鐘　長野縣　鳥山正信
病める身のさびしく窓にもたれつゝ君の歸りを見送りてけり　山形縣　石黑こう
父もたぬ人の歌見て淚しぬいほりに住める哀なる身は　岐阜縣　水色草
埃立つ田舍の小道友と吾歌しつ歩む足の重みよ　群馬縣　橋本夢見草
針運ぶ我がそばに來て弟はマンドリンひく雨の日なれば　群馬縣　フリヂヤ
鍬肩に今日も樂しく一日のつとめを終へて歸る我が家　福島縣　八重櫻
やるせなき胸をいだきてしみ〴〵と夏の夜道に淚ながせり　福島縣　荒川かう
縫ひ上げしゆかたをながめ妹に着せんと思ふ我のよろこび　神奈川縣　丹後きく子
衣縫ひつほゝ笑みにけり父上のわが眞心を召すと思へば　長野縣　夕美　歌子

○佳の部○

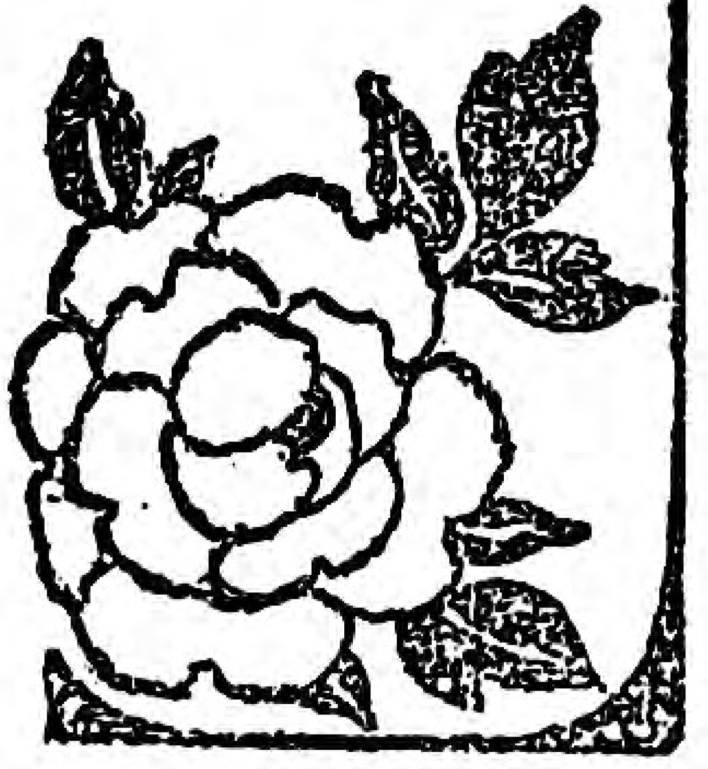
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

蟲一つ啼いて淋しき庵かな　埼玉　曙樂
秋日和稲穂刈とて農夫かな　福島　兒島千代美
衣更へかじかの鳴ける川邊まで　岐阜　酒田丈之助
若竹の影の涼しき夏の月　岐阜　大矢たけ子
釜洗ふ瀬戸の流れや夏の月　長野　安江すえ代
朝露の紫に散る桔梗かな　岐阜　花蝶
椎の下日傘たゝみて憩ひけり　埼玉　關根佐和子
夕立や鶏蹲る椽の先　岐阜　酒田櫻石
朝顔に夕日淋しき草家かな　福島　鈴木みよの
枕がやゆれて寝返り又一つ　靜岡　風岡富士子
夕立や旅僧いそぐ野中路　香川　月見草
涼風や話にふけて夏の月　神奈川　井上米子
蚊やりたく軒の烟や町はづれ　群馬　島田幸子
夏木立蝉も鳴くなりわび住ひ　群馬　柳岡いく子
貧しさの心安さよ茄子の汁　神奈川　堀井ノヤ
朝顔のつぼみ數へて笑顔哉　岐阜　多賀ひで子
桑かごをになひて歸るわらべ哉　福島　吉津小伊久
七夕や軒にひらめく五色がみ　長野　夕美歌子
夕立の晴れて涼しき夏の庭　群馬　小泉朝子
水の面に浮び出たる螢哉　北海道　柏葉
行水にちらとうつりし螢かな　埼玉　内野志津子
誰を誰が待つ風ならん夏の風　石川　中井けさえ
夕涼み前の小山に流れ星　北海道　早苗波里子
すげ笠のをちこち見ゆる田草とり　岩手　白鳥
蝉の聲屋根より高き青葉かげ　埼玉　新井やす江
清水出て草鞋をひたす野中道　愛知　加藤美佐遺
夕涼み風がつげたる琴の音　岐阜　塚本薩林
袖におく露の涙のたびごろも　福島　植野貴美子
更け行く夜淋しさつのる夏の宵　長野　涼香
大名のひめにも似たる百合の花　山形　散樂千芳
ちさな子が母の顔見て嬉し泣き　福島　飯塚富子

曇り日の靜かに流る白雲を窓越しに見る弄病める日に　香川縣　野田かつゑ
吾一人ランプの下に筆とればむれて集る虫のいろ／＼　長野縣　月見草
まぢかくの山も見えなく朝霧に草刈る鎌の切れのよきかも　神奈川縣　小菅柳美
少女子が唄ひながらに鳴子曳く音爽やかに夜は更けにけり　福島縣　鈴木みよ野
鍬洗ふ小川の流れ清らかにかじかの鳴いて心樂しも　岐阜縣　酒白丈之助
幾たびか死なんとすれど老いませる母をし見れば心にぶりて　福島縣　ふたば
父上の仕事着にとて織る機の一ひ／＼に丈夫なれよと　福島縣　小澤富美子
灰色の心いだきてまよふらむさびたる三味を生命にはして　群馬縣　島田幸子
谷川の冷たき水にしめしたる我が足もとに小魚うごけり　鹿兒島　だりや
分け入れば樹立繁りて夏涼し岩をつたうて流る眞清水　神奈川縣　清水富子
縫ふ針をしばし休めて眺めやる此處の靑田に風のわたりて　岐阜縣　佐幸清見
目ざむればあり明けの月窓にさし曉つぐる鷄の聲　埼玉縣　新井やす江
入相の鐘の音きゝつ野の幸を歌ひつ歸るこの身たのしき　三重縣　橋本繁子
ほのぼのと明けはなれたる綠野に咲く七草の露重げなり　長野縣　窪田小蝶
何事も口には言はで桑をつむ小さき胸に悶えある身は　北海道　萩原千代子
面白き虫の聲々聞きながら樂しくこもる七夕の夜　鳥取縣　小原繁子
またゝける星を戴き草刈れる乙女の前に匂ふ白百合　岐阜縣　山吹
谷川の淺き流れに影うつす岸の山百合美しきかな　群馬縣　繁夏子
やるせなく淋しと我に云ひし君その君思ふ我も淋しき　埼玉縣　下山須子
すつかりとぬれし汗をばぬぐひつゝ喜びかへる夏のたそがれ　愛知縣　服部たか子
そのかみはかたくなりしと母の云ふ父老いまして心弱りぬ　長野縣　麻野美津喜
夕暮に野道を辿り我が我に歸る乙女の心嬉しき　神奈川縣　中村せつ子
晴れ渡る空も澄みて海清し沖の白帆の走る速さよ　石川縣　正田光枝
女らしうなれと云はれし母上のみ言葉思ふ初秋の風　福島縣　目黒きい子
夏の日に桑つみながら妹と野の幸歌ふ心樂しき　神奈川縣　江藤梅乃
我一人奥深き室につと入れば窓より淡き月影のさす　北海道　柏葉
咲き出でゝ山の女神と見ゆるかな清く匂へる姫百合の花　山梨縣　丸山文子
月も日も田畑に浮ぶ野邊住ひしみ／＼と聞くひぐらしの聲　香川縣　安西てる子
たそがれや草取りをれば我をよぶ母の御聲のなつかしきかな　福島縣　吉津園代
足あらひ處女の友手に草ふめば桐の葉かげに月は出たり　靜岡縣　牧田秋子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ



△「秋風の人の心に立ちにけり」と申しますが秋風吹いても變らぬものは誌友の交り、ほんとに皆さんの睦じいお交りが編輯部でもどんなに嬉しいか知れません(記者)

○皆様私も愛讀者となりましたからどうぞお交り下さいませ。

群馬縣勢多郡桂萱村　大島よの、滋賀縣神崎郡八幡町垣見　藤野りき子、鳥取縣西伯郡渡村上大澤　築谷花子、福島縣大沼郡　河上久子、岐阜縣中野方裂糸　渡邊やゑ子、福島縣大沼郡大瀧村大鹽　渡部トシ子、埼玉縣入間郡吾妻村莵幡　内野しづ子、福島縣大堀多喜美、福島縣會津磐梯山下本寺　み代野、鹿兒島縣だりや、神奈川縣高座郡・伴村　大貫なか、岐阜縣武儀郡上麻生村本郷　石橋正義、福島縣河沼郡勝常村　花見とみ、香川縣木田郡　白井光枝、山口縣大島郡屋代村　中原糸代、岐阜縣加茂郡西白川村河岐　井口春枝、群馬縣佐波郡剛志村　大澤ちか子、埼玉縣北埼玉郡騎西町　岡田里和子、岐阜縣白菊、埼玉縣北埼玉郡騎西町字下崎　佐藤たか子、香川縣三豊郡牧野千代能、長野縣　市瀬きよ子、岐阜縣武儀郡東武藝村　舟戸たみ子、福島縣大沼郡沼澤村　角田きみよ、神奈川縣津久井郡千木良村　坂本なと、神奈川縣津久井郡千木良村　榎本キン、靜岡縣駿東郡長泉村納米里　宇津木ひさ、山形縣北村山郡小田島村遊澤　柴田りう子、和歌山縣木村靜子、島根縣大原村佐世村　大坂伊津野、埼玉縣兒玉郡東兒玉村原田くに、秋田縣雄勝郡岩崎町　齋藤なほ子、福島縣伊達郡立子山村三浦初代、香川縣三豊郡柞田村　大西たまの、長野縣上伊那郡箕輪村鳥山正信、鳥取縣西伯郡和田村　増田政子、鳥取縣西伯郡中濱村麥垣松本みどり、鳥取縣西伯郡渡村　松本的子、岐阜縣益田郡小坂町　夏菊、富山縣東礪波　小川はつい、岐阜縣武儀郡上麻生村大崎　今瀬蛯峨枝、山口縣豐浦郡　河田防長、福島縣大沼郡　ゑむ子、福島縣南會津郡朝日村矢澤美代子、福島縣耶麻郡長瀬村鈴木すかの、

○誌友の皆様今は年中一番身體のだるい時ですから一層お身體をお大切に(郡山　八子燕子)

○私は母なき十七歳の年を月々御誌になぐさめられて居ます、誌友の皆様も不幸な一處女を御導き下さいませ(靜岡縣　一愛讀者)

○誌友の皆様御變りありませんか風岡富士子様先日はおなつかしい御手紙と共にシャリを御送り下さいましてありがたう、西村ヨシノ様、吉岡様誌上でお交り下さい(山口縣大津郡俵山村　西松初枝)

○記者様私の村にも處女會か開かれました、又文藝雜誌を發行するやうになりました(埼玉縣騎西町　佐藤ひろ子)

○私は此の五月父を失つて淋しい日を送つて居ます、誌友の皆様露深い野に山に行樂をほしいまゝにする御兩親ある方が羨やましうございます群馬の橋本美代子様蔭乍らお慕ひしてゐます(埼玉縣　三枝より)

○靜岡縣の風岡富士子様、青木糸子様、遠藤しま子様、淺井濟香様、同縣でおなつかしうございます(靜岡縣田方郡　杉山やゑ子)

○田村百合子様新參の私が失禮ですが御差支なくば御住所お知らせ下さいませ(府下　松代子)

○隣村の小林まさ子様おなつかしうございます、あなたは川尻村の町屋の方でしたね、お差支なくば御遊びにいらつして下さいませ(神奈川縣高座郡相原村　熊坂みどり)

○おなつかしい晴女様先日は誌上でみことば有かたうございました(江藤梅乃)

○埼玉の今泉あさ子様、愛知の都筑花子様鈴木靜子様、御なつかしう存じます今後益々御交際下さい(愛知縣北設樂郡三輪村　大原靜子)

○記者様繪葉書有難うございました、鳥取の築地綾子様、三重の高本繁子様誌上でみ言葉有難うございました、鳥取の門脇みつ子様お便りがありませんが如何なさいました(愛知縣吉田村　今井しげ子)

○茨城の競子様同郡でおなつかしうございます、誌上で宜敷く御交際下さいませ(茨城縣新治郡斗利出村　中山奈賀子)

○猪苗代湖畔の詩の花様お慕はしうございます、河沼郡の土田かつ子様隣の町であなたのお話伺つてお目もじ致し度いと思つてゐます(東北乙女)

○淋しい工場で暮す處女はこのやさしい處女の友の來るのが樂しみでございます、誌友の御姉様どうぞ濟

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

き誌上で御導下さいませ（鳥取縣西伯郡渡村　築谷千代子）

○若林志津様、鈴木靜子様御言葉有難う以後よろしう（三重　高本紫子）

○宮城の二階堂様と本岐様へは久しく御無沙汰でしたお赦し下されませ、九月號はお早くお待ち申して居ます（宮城縣本吉郡　河田さとみ）

○記者様私は母親なく兄弟なき悲しい身で御座います、今後よろしくお導き下さい（福島縣若松市　佐藤）

○愛知縣の小石様お差支へなくばレター下さい福島縣のわすれな草つてどなた、土沼たまよ様ぢやありませんの（猪苗代九軒丁　拾小舟）

○三和村の酒向様お便りに預り有りがたうございます、靜岡縣の風岡富士子様、鳥取縣の杉本鞆子様、福井縣の松宮きよ子様御交り下さいませ、福島縣の渡邊英津子様同姓でおなつかしうございます（岐阜縣加茂郡西白川村　渡邊富子）

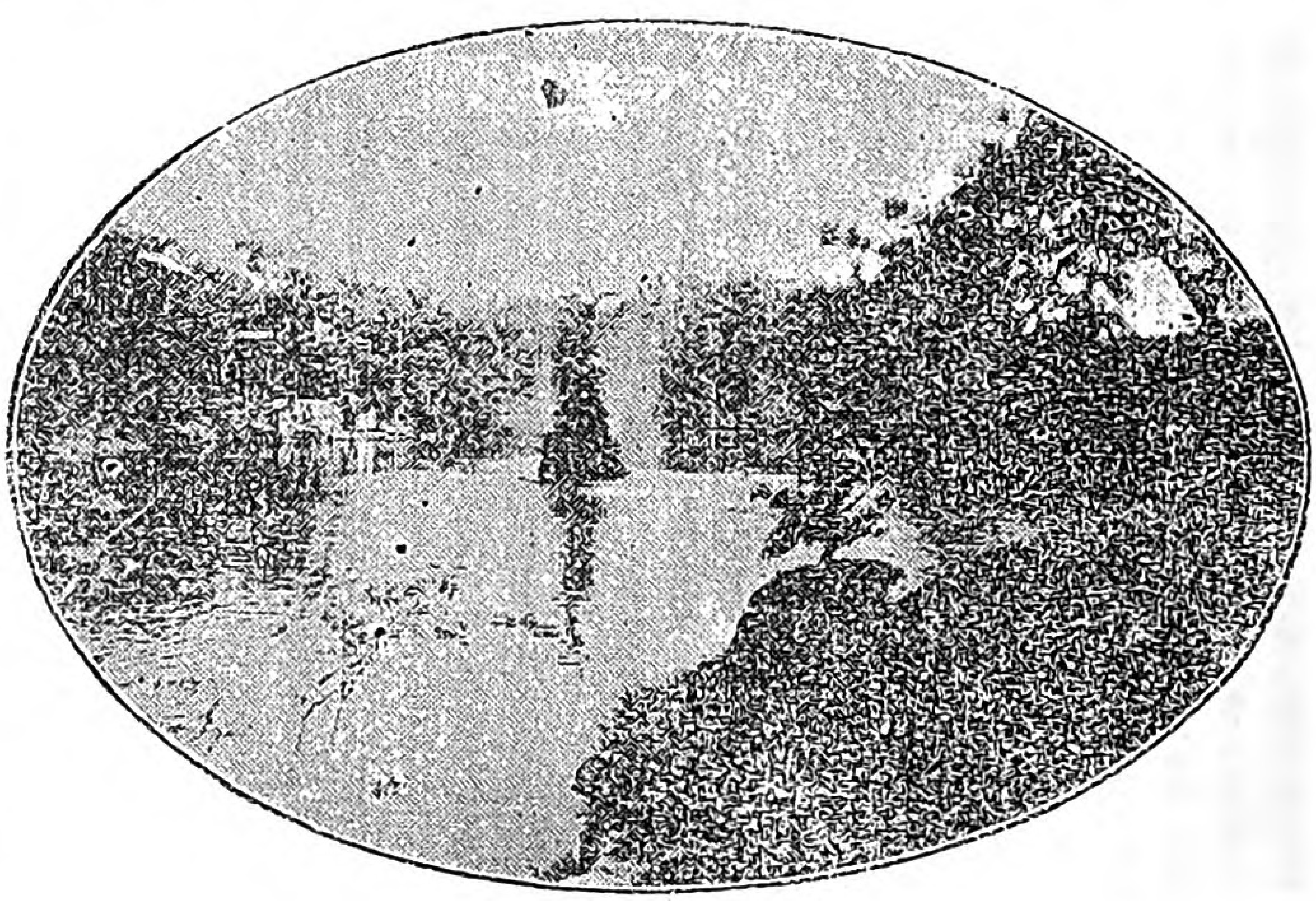
○八月號でみ言葉下さいました隣村の松本久子様、私こそどうぞよろしく、そしてお暇な節にはお遊びにお出下さいませ（鳥取縣渡村　おや子）

○皆様只今私は北海道の片田舎に歸つてゐます、八月下旬には又み情ふかい校長様のみ許へ參ります、そして又一生懸命に勉強致しませう（北海道　千代子）

○八月號でみ言葉下さいました富家美津子様私こそどうぞよろしく御住所わかりませんゆゑどうぞ貴女の方から（鳥取縣西伯郡渡村上大澤　門脇みつ子）

○誌友の皆様如何お過しですか、山下惠美子様ほんとにおなつかしう存じます（神奈川縣　岡本孝子）

○河邊芳枝様、齋藤優子様御言葉有難う御座いました、齋藤キヨノ様花見トミ様同郡でおなつかしう御座います（福島縣上野尻村　土田かつ子）



日比谷公園

○同縣の山下惠美子様群馬縣の赤い鳥様先日は御やさしき御言葉有がたう御座いました何卒末永く御交際を（神奈川縣津久井郡　山口いと子）

○福島の詩の花様神奈川の小菅様三重の鈴木靜子様愛知の今井しげ子様鳥取の小原様遠い北國の地よりお慕ひ申してゐます（北海道雨龍郡雨龍村　萩原千代子）

○同縣の岡部秀子様御變りありませんか、同村の大久保靜子様同姓で御なつかしう御座います（東京　大久保よし子）

○不束な私にお言葉下さいました同縣の河原撫子様私こそよろしく、白鳥様對比地こう様かげながらおしたひ申して居ます、同縣の江花浪子様、私ふたばとして投書してゐます（福島縣南會津郡朝日村　本名君子）

○鳥取縣の門脇みつ子様み言葉給はりうれしく存じました淸き誌上で末永くお交り下さい（和歌山　えい子）

○七月號で御言葉下さいました會津の土田歌津子様有がたう存じます本年の養蠶は人手不足のため隨分忙しうございました（福島縣　齋藤優子）

○福島の詩の花様、夢の花様群馬の藤倉きん子様一望十里の埼玉の野でお慕ひ申してゐます（埼玉縣　母子草）

○酒井田しの子様、大坪すゞ子様と三人の愛讀者は毎日工場に出勤する時に處女の友を片手にして休みの時間になると處女の友を讀んで居ります（田口わか子）

○記者様始め皆様御無事ですか、この秋に蘇つて強く優しく活動しませう、詩の花様、今井しげ子様どうぞお交り下さい（東京府下西多摩郡檜原村　岡部秀子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○鳥取縣の門脇みつ子樣度々御手紙ありがたう御座います、長崎縣の田中初代樣先日はお便りありがたうございました同村の竹内さだ子樣おふるい遊ばせ（埼玉縣小手指村　大館たけ子）

○白井みつ江樣お變りもありませんかお差支なくば御交際下さいませ（福島縣大沼郡西川村　渡邊光枝）

○大館伊都子樣同縣でおなつかしうございます、香川縣石川もと子樣鳥取縣松本あき子樣おなつかしうございます（埼玉縣北埼玉郡騎西町　岡田かれ子）

○私は古里はなれて一人知らぬ土地に語ス友もなく淋しく暮して居る乙女です、皆樣お導き下さい、熊本の福下ひろ子樣御差支へなくば御交り下さい（忘名草）

○汗が止め度なく流れ暑苦しく酷暑となりました、これから傳染病の流行する時季ですから御自愛なさいませ（鳥取縣日野郡江尾　杉本畑子）

○内郷村の山口孝子樣、もしや貴女は勝瀬の非上樣の御親類ではありませんか、どうぞお敎へ下さいませ（神奈川縣青葉の影より　惠美子）

○私は上州の田舍に住む處女でありますが本年二月學校の先生や青年の方の御骨折で處女發會式を擧げられました、三月號より處女の友愛讀者になりました、（群馬縣勢多郡桂萱村町田やす子）

○私は農業に從事しつゝ處女の友の來るのを第一の樂しみとして待つてゐます（愛媛縣温泉郡三内村大字則之内　大野トメ子）

○我が村の青年岡田保市樣、今泉豹吉樣は御熱心に處女のためにつくして下さいます（杉田つれ子）

○上廳生村の野中きくゑ樣同縣でおなつかしうございます（岐阜縣益田郡小坂町　吉田夏菊）

○小手指の美喜樣同縣でおなつかしうございます（埼玉縣入間郡小手指村　大館れん子）

○土用とは申しながら昨今のお暑さは又格別でございます、私は日々家業の手傳いたして居りますから御安心下さい（靜岡縣小笠郡曾我村　松浦靜惠）

△研究室

○亂れかゝつた誌友交際も各自自覺の下に理想的の交際が出來るやうになつた事を反對の子さんに感謝します反對の子さんお差支なくば御交り下さいませ（一讀者）

○七月號誌友くらぶ欄の福島縣服部義馬兄、滋賀縣一青年、神奈川縣小菅伊太郎兄住所をお知らせ下さい兄等よ提携して意義ある男一匹となりませう（岐阜縣加茂郡黑川村　藤井收助）

○私は七月號の御誌に「誌友くらぶ」文壇及び俳壇や歌壇に投稿しましたが、何一つも出て居ませんがそれはなぜでせう（長野縣　丸山敏雄）

△追々出します（記者）

○看護婦會に入會するには直接上京してもよいでせうか年齡はいくつでもよいでせうか（福島縣　宮木鈴子）

△中央部まで御申越しになれば確かな會にお世話します、御上京の節は停車場に迎ひに參ります。年齡はいくつでもかまひませんが、御兩親の御許しのない方はいけません（記者）

○七月の處女の友にあつた榮バンドはどちらで賣つて居ますかお知らせ下さい（鴫島きみ子）

△東京赤坂見附山本美粧俱樂部です（記者）

○記者樣私は六月號に俳句和歌を投書致しましたが此の處女の友にのせて下さいませんがどういふわけか一寸お知らせ下さい（小澤やよ子）

△追々のせます（記者）

○或る若い男は云ひました、女などは御飯炊ざへ出來れば澤山だと、女といふものは此の世の中に飯炊に貴き生を受けて來た者と思つてる方が有ると思ふと情なくなつて仕舞ひます（福島縣　喜美子）

○記者樣和歌又は俳句などを投書して載せて頂けぬのは、下手な爲めでせうか、それでは今後は一層奮つて進歩しなければなりません（福島縣　無學女）

○あなたの御熱心できつと進歩しませう（記者）

○國際聯盟のお話について全くどの國も戰爭をしない世の中になり度いと思ひました、我が日本の國はもつと外國にまけず智識を發達させ質素勤勉にし、相互に助け合ひ、眞面目に働き、お金をこしらへ、外國と正しく交際し、日本だましひの心を強くもち度いと思ひます（群馬縣　田部ぶん子）

○反對の子樣がタッタ一言仰有つたお蔭で、たくさんの讀者の心理を伺ひ知ることが出來ました、いつ迄同じ問題のために貴重な誌面を費すのも本意でないかと存じます、如何でせう、もうお互ひに理解して仲よくお交りを致さうではありませんか私はこゝに更めて新問題を出します

一、感想室を設けて本誌記事を見て感じた事（例へば何號の何記事といふ風に）を述べては如何でせう（本持庄太郎）

△結構な事です、皆さんの愛する處女の友の成長のために記者からもお願ひします（記者）

○此頃小さな町にも虛榮の權化東下りの夏羽織婦人が、チラ〳〵見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

受けられます。單衣一枚でさへ暑い此頃汗を流して羽織着て何になるのでせう、そんな金があつたら、有益な本なり雑誌なりを買つて身の修養にした方が如何によいでせう、又不幸な人々に惠んであげた方が、どれ程有益でせう(福島縣　富田喜久子)

○男子の誌友は賛成します、でも皆様反對の子様ばかりをいぢめないでゐませう(長野　本木喜里子)

○神奈川縣の小菅様の御言葉に賛成です、現在の誌友倶樂部も大層盛大でありますが今一歩進んだ趣味にて賑はさうではありませんか(北海道松本白百合)

○貴會中央部に於て西比利亞出征兵士の爲めに金品御惠みの計畫をなされては如何です(石川縣　正田利一)

△結構な事ですから考へて見ませう(記者)

○富士の神山何時も變らず雪白くいたゞいて美しく見えます、皆様このやうに心を潔く持ちませう(山梨縣　野中そう)

○八月號の社說同感です、小菅伊太郎様、楽山由良子様、忠告する子様、吉岡孝子様、憤慨生様、藤井收助様、福下ひろ子様、桂寛司様、佐藤浩様、岡田保市様、芙蓉様、野中りう様、みつほ様、窪田顯級響様文通望みます(三和の里　花蝶)

○記者様、和歌、俳句の選者どなたでせう、お知らせ下さい、又一人一首又は一句より出さないのですか(岐阜縣　山百合)

△文藝の投書は編輯部で添削して嚴密に公平に選びます、一人一首だけ發表します(記者)

○福島縣の江花様私はとうから和歌や俳句を研究致したいと思つてゐます、よい本がありましたら價と共にお知らせ下さい、群馬縣の橋本登久子様おなつかしう存じます(東京府中野町二〇五〇鈴木方　柴田フヨ子)

○北海道の叫ぶ子様御本名をお聞かせ下さいませ、反對の子様の味方は私一人ではありますまい、開けた青年理解ある方でさへ處女といふものを玩具と思つてゐる方がすくなく有りません私は大反對(反對の乙女)

○皆様の中に簡單服の製へ方の書いた御本の發行所を御存じの方は有りませんかお教へ下さい(白百合)

○私は男子の身でどうして本誌の誌友となつたか、時勢の急は青年處女をして提携とか、理解、修養帝國青年にて見る度毎に、女性の眞純な生活發展ぶりを知つたからであります(山口縣　岩本春一)

お噂さ

○中尾りつ子さん貴女はどんなにかお淋しいでせう。私は天野先生の記事を拜見して思はず泪が頰をつたはりました、全く御同情申上げます。けれどもりつ子さん、貴女に處女の友の誌友でいらつしやいますから、御父母様はなく共、先生方が御兩親同様御導下さいますし、私共も及ばずながら姉妹となつて、末永くお交り致し度う存じます、皆様と共に愉快に働きませう(優香子)

○お國の爲めとは申しながら、山脇房子先生には毎號本誌に有益なる金言玉說を給はること誠に有り難く敬謝し、毎々服膺躬行に努め居り候(福島縣　菅家畑子)

○竹腰よさ枝様度々誌上で御名前拜見して居ます、同村でうれしうございます。竹藤子様み優しい御手紙下さいまして、ありがたうございます(岐阜縣　渡邊富子)

○記者様初め誌友の皆様私の處の會員淺川たつよ様が七月六日十八歳を一期として不歸の客となられました、唯一人のお友だちを失つた私等は淋しくてなりません皆様御同情下さい(福島縣　淺川みさ子)

○私も本誌愛讀者ですが、本誌が後れて送本になりまして、投書する事が出來ません、どうか早く御送り下さい(福島縣　角田とし子)

△出來る限り早く送りませう(記者)

○おなつかしき誌友の吉岡孝子様小石かつ子様、おなつかしきお便り下さいまして有難うございました、末長く御交際下さい。望月ひさを様六月號に御やさしき御ことば有難う御座いました(長野縣　小澤やし子)

○私は河沼郡坂下小學校講堂で天野先生の講和を聞き感激しました、私は善風作歌に鑑して居ります片田舍の寒村にも曙光を見出しました(會津　一瓶秋子)

○水沼壽磨子様御懐しい御便り有り難う御座いました、貴女の和歌の「我が友は製絲工場にかよふなりきてきの鳴れば懐かしきかな」と詠まれましたが貴女御所は豐田ですか、大久保です同名ですれ(すま子)

○記者様同村のすみ子さんも今度から投書遊ばすの、又誌友が一人増しました、私ほんとにうれしいわ、猪苗代の土沼様おなつかしう存じます(渡邊みどり)

○長野の皆様、どの雑誌にも御熱心に御投書遊ばす錦部反町の小千代姉様が本誌を御愛讀なさいます事をお喜び致しませう(錦部反部　本木喜里)

○趣味と實益をかね備へた記事、眞に農村處女の理想の伴侶!!私は處女の友を手にする毎に此感を深くいたします、お懐しい石川もと子様

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小原しげ子様、若林たまの様、御言葉に從ひ群馬縣佐波郡剛志村の住所お知らせ致します(橋本美代子)

○夏の夜はいたく更けました、眞夏の夜……あゝ何と云ひ現しませう讃美歌か？ 哀歌か？ 虫の唄に泪ぐみます……おゝ對比地様、夢の花様、野菊様、島田様ます／＼御振ひ下さい(利根河畔 夢見草)

○猪苗代湖畔の詩の花様、まだ見ぬ君乍ら御慕ひ申して居ります、不束な者ですが御差支へなくば御交り下さい、紙上で住所御本名御知らせ下さい(會津 八重櫻)

○猪苗代湖畔の詩の花様處女の友を拜見した時からあなたがお懐しうございます、河沼郡の土田かつ子様隣の町であなたのお話伺つて、お目にかゝり度いと思つてゐます(東北乙女)

○處女が皆行がたゞしく眞面目に働く様になつたのも皆本誌のおかげです(岡田保市)

○福島縣の横田美枝子様、佐々木とみ子様、御健全ですかお伺ひします(鳥取縣 みどり)

○和歌俳句の月毎に盛んになるのを嬉しく思ひます、佐賀の北村夢歌様若しや貴女は福日歌壇に御投書遊ばすお方でなくつて、お差支なくば御本名おもらし下さい(筑後河畔行德葉蘭女)

○山脇先生のお説の二人の工女の運命深く身にしみました、しかし私等はお光の行つた工場と同じ様な會社に働いて居ると云ふ事は何たる幸でせう(郡是 藤本はる恵)

○不束な私が投書した前號の和歌をお直し下され厚く御禮申上げます、私も六月號より本誌の愛讀者と成りました、同府の秀子さんよし子さんお交り下さい(東京府 大久保蒔子)

○おゝ「俺は寂しい……」何といふ悲痛な叫びで御座いませう最愛の我兒を殺した父マテオの話最も共鳴しました、松崎先生の青森の夏ほんとに面白く一息に讀みました(富山縣宇田薫子)

○小手指村の竹内貞子様八月號の俳句見事御入賞遊ばされお祝ひいたします(埼玉縣入間郡山口村 關根佐和子)

○八月號にて御二人の工女さんの運命に私は同じ職業故幸福なお光さんをうらやましいと思ひ、あはれなお小夜さんの身上に同情いたしました(安江すゑ代)

○最愛の我兒を殺した父マテオあ！おそろべきは人を裏切るといふことです(埼玉 荒川ろく子)

○おゝ八月號の內容、月々に光彩を放つ吾が處女の友あゝほんとに喜ばしい事ではありませんか、誌友の皆様最有意義な生活を送りませう(靜岡縣志太郡德山村 栗原思芽)

○私共の母校では七月廿日から五日間夏季講習を開き染色手藝二つに別れて諸先生の御指導に預り茶話會も開き野の幸を歌つて大變愉快でした(滋賀 市居庇)

○愛知縣の小石かつ子様、世の中には私のやうな淋しい一家も御座います、貴女様には御兄妹がお有りなさる由、私には父も御座いません、兄や弟も失つてしまいました、母一人子一人で淋しい日を送つてゐます(神奈川縣津久井郡內鄉村 井上米子)

○佐賀のふみ子様に……誌友は姉妹であり親友なんですからお互に人の感情を害するやうなことはやめやうではありませんかそして自重しませう(風岡富士子)

○隣村の清水磨津齋様み育榮嬉しく存じます、お差支なくばお便り下さい、中野政子様住所をお知らせ下さい(埼玉縣秩父郡 新井菊齋)

○「草深きひなに住むとも身は常に心をみがけ大和撫子」郡會に住むある一婦人の方が私にこんな和歌を下さいました、私はこの歌に依つて常々心の修養につとめてゐます(群馬縣 藤倉きん子)

○先日は思ひがけなき徽品に見事な繪葉書御送り下され誠に有りがたう御座います(靜岡縣 森きよき)

▲趣味のお室

○私は皆様からお便りを頂くのをどんなに待つて居ますでせう、それほど私の心は弱いのですもの、それでも私は一生懸命に父母に孝行するつもりです(愛知縣北設樂郡三輪村伊藤カツ子)

○竹腰よさ枝様、今更乍ら悔の情の湧き出るのを禁じ得ないのです、あの頃の浮草心今とて變りはないのですけれど……(信州 さくら)

○强く優しくまじめに働け、何と言ふよい事でせう、誌友の皆様これからは燕を手本として大いに活動いたしませう、そして住みよい國家を作りませう(美代子)

○色々書いたけれど、投書するのが恥かしいやうな氣がするから、目をつぶつて投書しやう(埼玉縣 新井きくじ)

○肥塚先生の御壯健で幾久しく處女の爲めにおつくし下さいますやうお祈致します、水泳の季節が參りました、岐阜の平山さかゑ様御住所をお知らせ下さい(惠那郡武並村 水色草)

○めつきり暑さが加はりました、誌友の皆様お變りございませんか、私は毎日にえかへる水田に田草とりつゝ青々とした稲をながめては秋の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

みのりを祈つて居ます（靜岡縣　石川しよう）

○都の人は海へ山へといそがしい時、涼しい海風に勞苦を忘れてしまひます、先生始め皆様いらつしやいませんか、ほんとうによい景色ですの、でもあまり田舍で汽車道まで十餘里もある地ですもの、（宮城縣　月見草。風景や仕事、人の性質などだん〲お知らせ下さい（記者）

○碧い空――靑い海――寄せてはかへす白い波、又は綠の三保の松原居ならぶ漁船――夕ぐれはひとしほの眺めでございます、此の美しい夏の景色を心ある「様にお目にかけ度うございます　靜岡縣庵原郡庵原村牧田秋子）

○皆様誌上は尊い御本名でお飾り下さるわけには參りますまいか、誰方のお作やら誰方の仰せなのか眞の親みを持つ事が出來ません、お顏も知らぬ皆様でも御名前がわかれば御文を拜見してもおなつかしうございます（香川縣　石川もと子）

○私は野の乙女ではない……さうした弱い心を抱き乍ら日に幾度も野の幸を歌はずに居られぬ。野を守る處女のわれらが幸ぞ……歌ひ終つて淋しい氣分になつてしまふけれど、惱みのドン底にもがいた私はどうやら活路を見出した、遥かな光明に向つて唯まつすぐに進まう、さらば諸姉様御健在にて（宮城の白鳥）

○私共は靑年處女三十名が合同で五年前より互に誡め互に勵して窮ら修養に勉めて居ます、小さな修養團が尙友會であります（都岡村上川非阿部もと、杉山とら、阿部その、中村こと）

○皆様大いに學び大いに働くシーズンは來ましたれ、晝は野に出て働き、夜は又電燈の下で夜の更けるを知らず、本誌の頁を繰る時の樂しさ田舍乙女はかうして本誌に慰められるのです（埼玉縣　新井やす江）

○先生私は父母ない淋しい子です「親のない娘へ」私涙流してよみました、どうぞよろしくおみちびき下さいませ（埼玉縣　はる子）

○私の村は海拔三千尺の高地でほんとの田舍ですもの、どうして都會の御方と共に進む事が出來ませう、何もかも皆記者様の御指導に依らねばなりません（美枝子）

△都會の娘さんが甘い夢に醉ふて居る間に地方の婦人は眞劍になつて、グンと意義ある人生の捷を得やうとしてゐます、どうぞ確乎して都會の娘さんの甘い夢をさまして下さい（記者）

○舊曆の盂蘭盆……淸き尊き農村の娛樂賑やかな踊……響く太鼓の音眞からの喜びの色……誌友の諸姉様御地はいかゞ（福島縣　目黑きい子）

○月々に御誌の發展をかげ乍らおよろこび申上げます、私も汗を流して働いて居ます（德島縣　河内きくゑ）

○詩的な田園の夏――ほこり多き都のみな様に少しでもこの靑葉をお見せし度うございます、ほんとに私等はかうした田園に生れた事を感謝します、さうして何處までも眞面目に働き得る事を……（福島縣　夢の花）

○新涼肌にすゞしく、風秋に冷なるとき今年の夏を送りて、淸き秋を迎へんとする意氣……同縣の優子様夢の花様、わすれな草様お優しいみ言葉有がたう（福島　英美子）

○内海千代子様、み言葉嬉しく存じます、仰の通り小蝶でムいます、今後よろしく御指導と御交際の程を……木曾の繪葉書お送り致します（長野縣東筑摩郡錦部村　窪田小蝶子）

○涼やかな蟬時雨も何時しか止みました、靑葉かげに赤い灯がうつつて今日も暮れて行きます、私は何時しか處女の友をかたく――抱いて居ました……涙ぐんで（群馬縣　愁花）

○杉本輝子様、鈴蘭様本當に嬉しう存じます、どうぞ御文通下さいませ、香川の白蝶様益々御睦ひ遊ばせ埼玉の水仙様過日の失言お許し下さいますかしら……私こそ御無音おゆるし下さい、猪苗代の詩の花様すえ子様淋しき妹にみ言葉お待ちしてゐます（鳥取縣西伯郡春日村　小原しげ子）

○天野先生、松崎先生誌友の諸姉様今後よろしくお導きをお願ひします、私の村は本年花の咲く四月川浦靑年會のお骨折で處女會が開かれました、坂の東村、上廰生村、神淵村の諸姉様、一層誌上でお交り下さい（佐幸淸見）

○橋本様、小原様、お變りありませんか、私はほんとに嬉しい事がありますの當地の小學校でこん度處女會を開催しますの、そして私を委員にして下さいました、これから一層御誌の敎訓の如くやさしくまじめに働きませう（宮城　富塚ときわ）

○福島縣大沼郡河邊芳枝様、きい子様、おたより有りがたうございました、誌上の皆様露しげき朝、月淡き夕べ蠶飼ふ乙女をお導き下さい、あゝ私等農園の幸を月見草咲く岡に味つてゐます（福島縣の讀者）

○野の幸の歌を毎日廣い野に出て淸い空氣を吸込んで靑田で大きい聲で歌つて居ます（上本チカズ）

○あゝ淸らかな今宵の月をながめて、日頃の勞苦も打忘れてしまつて、樂しい別世界へでも行つたやうな氣持が致します（群馬縣新田郡鳥之鄕村　すゞらん）

○私の村の處女會も本年は創立以來十五年目にて、古いものですが、まだ〲充分とは言へません、これ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

より一層修養してよき模範處女とならんと會長様始め會員一同はげんで居ます（兵庫縣多紀郡大芋村　黒田こう）

○茨城の北村うめ子様のみ心には感涙の外ありません、共に従姉妹様の奈快を神にいのりませう、母様なき鳥取の築谷すみ子様、長野本木喜里子様ずい分お淋しい事でせう（群馬縣　同情子）

○暑い〳〵といつて居る中に、早や秋風が訪れて參り、やさしい七草も咲きはじめました、神奈川の山下惠美子様お淋しう存じます、同村の大神田晴女様御言葉有り難うございました（神奈川縣　長谷川菊野）

○田園生活、何といふそれは美しい言葉でせう、私の胸はおどります作物が芽だつ時、すつかり實を結んだ時、そして之等を刈り入れる時、私は生けるもの丶愛を感じます（みどり）

○くつきりと繪のやうに聳え立つ靈山の空に……清く〳〵冴えたる月……私は思はずダニウーブ川の歌を口ずさみますの（福島縣　富田まき子）

○昨年九月三十日の事でございます、思ひがけなき大暴風雨の爲に四人の友を奪ひ去られてしまひましたお丶何といふ可哀さうな事でございませう、二日前の補習學校の開校式に元氣よく勇ましく出席致したのでございます、僅かの時間で十七前後の四人の友は見るもあはれな死體となりました（靜岡縣田中村　杉山やえ子）

○私は本持庄太郎様のお進めで七月號より愛讀者となりました、こんな有益な本を今迄知らずに居たのが殘念でなりません（滋賀縣神崎郡八幡村　伊藤壽己代）

○美しい琵琶歌の肉聲がかすかに漏れてゆくと、又元の靜寂にかへりました、こんな晩一人机に凭れて讀書をして居ますと、云ひ知れぬ心の緊張するのを覺えます、藤倉様、岡崎様、橋本様み言葉有難うございました、チユーリツプ様お差支なくば何卒御住所を……（群馬縣剛志村　大澤夜詩野）

○綠濃やかな木々の葉かげに釣糸を垂る丶老爺、清き流れに遊ぶ村わらべ、この生ける繪を飽かずながめる通行人の白地のゆかたも川風に汗を消して居る、誌友の皆さん丶流る丶汗をぬぐひもあへず都の巷或は田闇に立つ日が來ました、お互につとめませう「强くやさしく眞面目に働け」といふ信條を忘れずに……（會津　曉星）

○お丶涼しい風…私は思はず口走りました、暑き夏の休みをかうして涼風に氣も輕く心から自然に活動に感謝してゐます、絞るやうな汗があつてこそ眞の涼風を味ふ事が出來るではないでせうか、皆様勉めませう長野の月見草様、野菊様お懷しう存じます、御本名お洩し下さい（長野縣　白菊）

○瑞穂の國に生れた私は、誠に幸福だ、この暑い時に蚊にせめられ、又ぶよや蜂にせあられ、一生懸命に刈り終へて舌のかはきをとめやうと谷間に行つて、清水をのみ、家路を急ぐ時强固な體を有して作物を肥すうれしさを味ひます（愛知縣　北川蝶）

○宮城の二階堂様、其の後如何お暮しなさいますか、滋賀の白鶴様宮城の白鳥様の御姉妹様とおなりになりましたとか、私おなつかしうございます（南信にて　月見草）

○暑苦しい夏が來ました、然し野の快樂はこれからでございます、床しい笛の音をきゝ乍ら、美しい月をながめて雜談にふける樂しい夕涼みも夏ならでは味ひ得ぬ賜で御座いませう（島根　山根ふさの）

○花園のやうな誌友くらぶから、優しくお呼び下さいました螢草様、淋しい子はよみがへつたやうに微笑みました、どうぞ御本名おもらし下さい御親切にお便り下さいました皆様へ病む子はお返事申上ぐることの出來得なかつたのを深くお詫び致します（岐阜　竹腰よさ枝）

○果敢ない運命に泣く淋しい子を何時も御眞情もてお慰め下さる諸姉様のみ名をそつとお呼び申して見ませう、竹腰様、米田様、小原様、今泉様、登久子様、大道様、中川様、千葉様、大舘様、玉井様、河上様、美千子様、淼子様、平野様、木村様、小林様以後も永久にお見捨なくれ（鳥取縣西伯郡渡村　門脇みつ子）

○亡き友を思はせるやうな鐘の音が、夕闇に消え行く……二階の窓によつて夕闇をみつめて居ました……お丶蜩が夕ぐれの空氣をふるはせて……（群馬縣　フリヂヤ）

○炎熱やくが如き畑に働いて、最後の勝利を得たうございます、先頃東京から歸省した方に早速處女の友を見せましたら、大變ほめて下さいました、純な乙女の吟みや叫びが氣に入りましたつて、皆様喜びませう（利根邊　麗香）

○私はしばらく病氣のため何のなす事もなく過しましたがやうやく全快致しましたから、又田園にたのしく働きます（長野縣　藤松むさ）

○終日野に働き一日の汗を流さんと川べに立つとき、澄んだみ空は夕燒に眞紅にかゞやいてゐます、清き流れに月見草の影をうかべて、さら〳〵と……偉大な自然美に接する身は幸福でございます（夕美歌子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯だより

△皆さんが田草とられた沸えかえるやうな水田に、すく〳〵と稲がのびて、冷い朝露が涼しく見らるゝやうになりました。秋の水のやうに心も清くあれと編輯部一同皆さんに向つて心からの希望でございます。

△投書も日に月に盛んになつて結構です、編輯部でもほんとに働き甲斐があります。然し投書の中で住所姓名がはつきりと書いてないために、折角當選しても賞品を送る事が出來ないで非常に困る事があります。どうぞ忙しい編輯部のためにはつきり書いて下さい。

△クラブ歯磨、クラブ白粉、カテイ石鹸の本舗中山太陽堂の皆さんは去る七月廿七日富士登山のとき處女會中央部に左の電報を寄せられました。

フジノゼツテフヨリハルカニキシヤノゴリツセイチイノル。

八月號考へ物解答

「秋の山の露重げなる稲穂哉」を形容して發(穂垂る)といふのでありますがよほどむつかしかつたと見えて、正解者が例月程多くありませんでした、左に當選者のお名前を發表しませう。

大阪府西成郡 戸村やす子、鳥取縣西伯郡 松田春江、高知縣安藝郡 西岡玉子、福岡縣遠賀郡 松尾富代、北海道北見 森千代子、福島縣大沼郡 長尾孝、埼玉縣入間郡 仲津麗、鹿兒島縣日置郡 永田すみ代、岡山縣兒島郡 吉田春代、福島縣河沼郡 大塚タキミ、長野縣塩田小千代、山口縣大津郡 秋山君子、和歌山縣伊都郡 淺尾擧子、廣島縣豐田郡 守安節子 長野縣東筑摩郡 藤松むま、京都府葛野郡 松下磐子、和歌山縣伊都郡 高田正代、静岡縣駿東郡 加藤繼子、京都府宇治郡 矢野とみ子、熊本縣宇土郡 吉都和子、長崎縣西彼杵郡 宮野久江、神奈川縣都筑郡 阿部タケ、東京府豐多摩郡 西田光代、佐賀縣小城郡 伊藤綾子 新潟縣西蒲原郡 横田美代子、群馬縣新田郡 田中みつ子、群馬縣佐波郡松本文子、福井縣大野郡稲宮よし子、東京府豐多摩郡、山下靜江

考へ物新題

新題 「○の幸を唄ふ○○の清き集合を○○○と名づけます」。

この文の○印の處に漢字を入れて下さい。

〆切は九月十日限り、宛名は東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所、用紙ハガキ又同じ大きさの紙、

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵税
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

○○註文はすべて前金のこと
○○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○○郵券代用の時は必らず一割増のこと
○○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年八月廿七日印刷
大正十年九月一日發行

編輯人 東京市本郷區元町二ノ六六 天野藤男
發行人 印刷人 東京市神田區小川町三十六 山所楠猪
印刷所 東京市本郷區元町二ノ六六 成巧社印刷所

假事務所 處女會中央部
發行所 東京市本郷區元町二ノ六六 處女の友發行所
振替東京六一一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌 東京堂、北隆館、至誠堂 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

に遅れない丈の修養は是非必要であります。高等女學校に行けない方々の為に拵へたのがこの

新制高等女學校講義録

（十五ヶ月で卒業出來る）

であります。內容見本規則等はお申越し次第無代でお送りします。

會長　貴族院議員子爵 菊花高等女學校長　清岡長言

顧問　實踐女學校長　下田歌子

顧問　女子醫學專門學校長 東京至誠病院長　吉岡彌生

學監　日本女子商業學校長　嘉悅孝子

講師　專門の大家先生　三十八名執筆

月謝　壹圓貳拾錢　毎月二回發行

東京市麹町區土手三番町廿壹番地
日本女子商業學校內

大日本婦女教育會

電話番町四三四八番　振替東京五三八六四番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女子技藝材料並に器具

袋物。造花。刺繍。絽差。摘細工。編物。組紐。
果實。壜細工。裁縫。絞り用具及染料。

女子高等師範學校
女子美術學校御用
共立女子職業學校

倉持本店

無代進呈
定價表は御申込次第無代進呈します

東京本郷區弓町二丁目
電話小石川二四二五番

地方部　振替東京壹七壹壹番
出版部　振替東京貳七七九貳番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

美容新劑 やせる藥

（藥名ヨードチリン錠）（改正藥價）貳劑七圓七十錢 壹劑四圓二十錢 特別製拾壹圓廿錢

この藥は大森醫學士が、「今日、西洋で行はれてゐる、信用のあるやせる藥といへばヨードチリンである。」といはれた、その藥を主劑として創製した錠劑で、實に學理的の靈藥であります。見苦しい血ぶとりやあぶらぶとりの方が用ひられると、姿形が美くしく瘦つて參りますし、またふとり過ぎて病氣の虞のある方が用ひられると、多過ぎる血液や脂肪分を適度に減じて、誠に身輕で丈夫な身體と變る特效藥であります、ふとり過ぎてお困りの方は早く此靈藥を用ひて、すらりとした美容となつて下さい

血塊流下 月やくの藥

（藥名通經劑）（改正藥價）試劑壹圓六拾錢 小劑貳圓九拾五錢 中劑六圓拾五錢 頑固症用拾圓拾五錢

この月やくおろしの藥は、當館が最も苦心して完成した、流經專門の靈藥で、これを創製して以來、もう參拾年になります。この藥の特點で最も優れてゐるところは、これをいか程服まれても、決して胃腸を害したり、子宮などに故障を起したりすることのないことであります。月經の不順な方や月やくの止つた方などが、服用なされば不通や重い頑固な血塊でも快よく速かに通じさせますから、月經から起る子宮病の方や血の道で、惡血や古血や毒血などに苦しむお方は、速かにこの藥效をお試み下さい。

腋臭靈藥 わきがの藥

（藥名腋臭必治劑）（改正藥價）試劑貳圓拾錢 小劑參圓拾錢 輕症用六圓拾錢 頑固症用拾壹圓拾錢

このわきがの藥は、當館の最近發見した特效藥物を主劑として、非常な苦心の末に創製した完全靈妙な、わきが症の適藥であります。この藥ならばわきがの病原となつてゐる肝腺や皮脂腺を、すつかり變質させることが出來ますから、どんな頑固な慢性のわきがでも、必ず完全に治すことが出來ます。これまで、どこの藥でも治らなかつた氣の毒なお方は、速くこの藥をお試みになり、永久にわきがの苦惱から脱れて下さい。

毛髮速生 毛はえ藥

（藥名ヘアーグロース）（改正藥價）試劑壹圓三十錢 小劑貳圓三十錢 中劑五圓三十錢 特別製拾圓卅錢

この毛はへ藥は、本館が多年の苦心研究と種々な實驗を積んで發見した、毛髮速生の靈藥であります。はえぎわやまゆげの薄い方や、腫物やその他の病氣のために、頭の髮の無い方や薄い方又はやけどの痕にて毛のない方などには不思議な位によく效きます。そこで總べて毛のあるべきところに毛の生えない方には、この上のない特効藥であります。口ひげや腋の下の毛などのない方などはどうか速かにお試み下さい

以上四藥 專賣 日新館製劑部

東京北品川町百五拾四番地及貳百參拾六番地

（振替東京參貳壹貳貳番）（電話高輪七九六番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娯樂▲青年團の連絡▲

定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　帝國青年發行所　振替口座東京二一一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

全國町村長會機關通報

斯民

九月號

一部 卅錢 一年 三圓六十錢

□太平洋及極東問題會議……阪谷男爵
□我經濟事情と綱紀問題……水町博士
□財產稅に就て……菅原通敬
□獨逸の社會事情……堀切善次郎
□倫敦の教育事情……田川大吉郎
□歐米都市の現狀……內務技師 笠原敏郎
□簡易保險と社會事業……桑山局長
□故井上友一博士の追懷……濱尾男爵、木村博士、山崎延吉、二木博士、上田外男諸氏

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口各府縣の會員諸君には特に地方版を配布す

天野雉彥先生著

最新刊 民育講談第一編 **油島千本松**

近刊 民育講談第二編 **石川翁山居**

山本鼎畫伯裝幀 □價各冊七拾五錢 □送料各四錢

在來の講談は、其趣味低調にして修養ある士君子の一顧に値するものなかりき。天野先生之を憾とし、其の民育に資し、敎養の助けたるべき新なる材料を選び、茲に民育講談を創めらる。其清新にして趣味に富み、一點卑俗の調なき、眞に是れ講談界の大革命といふべし、敢て江湖の淸鑒を博す。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

男女日用書式

總裁 小野鵞堂 會長 神郡晩秋

かな專習講義錄

名譽顧問 尾上柴舟 岡山高蔭

内容見本 [illegible]

東京四谷左門町 大日本かな專習會

六ヶ月卒業

内務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社 振替東京三三三〇〇番

株式會社 不動貯金銀行

第四拾貳期營業報告

預金總額 壹億八百貳拾貳萬九千百貳拾圓五拾錢

政府供託 貳千九萬壹千四百貳拾壹圓五拾錢

○貸借對照表

（負債之部）

不動貯金	八千參拾四萬壹千參百八拾圓四拾六錢
定期預金	貳千六百四拾八萬貳千九百六拾七圓貳拾壹錢
據置預り金	百四拾萬四千七百七拾貳圓八拾參錢
資本金	百萬圓
積立金	百五拾萬圓
身元保證金	參拾參萬五千參百拾八圓五拾貳錢
未拂利子	百七萬七千百四拾圓七拾五錢
未經過割引料	四萬七千九百拾壹圓參拾九錢
給付補塡備金	百九拾九萬四千貳百五拾七圓貳拾八錢
未拂配當金	參拾貳圓五拾貳錢
當期純益金	百貳拾九萬六千貳百六拾五圓參拾七錢
計	壹億壹千五百四拾八萬四千四拾六圓參拾參錢

（資產之部）

貸付金	五千百六拾七萬六千八拾貳圓七拾貳錢
銀行引受手形	貳百萬圓
コールローン	貳千萬圓
拂込未濟資本金	參拾六萬九千九百參拾七圓五拾錢
公債	貳千五百拾六萬七拾參圓七拾六錢
社債	貳百貳萬八千七百貳拾參圓拾九錢
株式	貳百貳拾四萬七千九百五拾圓八拾錢
土地家屋什器	參百拾六萬九千四百拾壹圓拾五錢
濱ケ金及現金	八百八拾貳萬七千八百六拾七圓貳拾壹錢
計	壹億壹千五百四拾八萬四千四拾六圓參拾參錢

右之通候也

大正十年七月

株式會社 不動貯金銀行

頭取 牧野元次郎

○御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

乳色硝子製

電燈の進歩に伴はざる笠の惱み！

電燈創始時代の單純偏平な笠は
時代後れを示します
形と色とは審美的に
配光は學理的に作り上げられたる

ベルリア反射笠！

之は夜間家庭平和の象徴です

神奈川縣川崎町

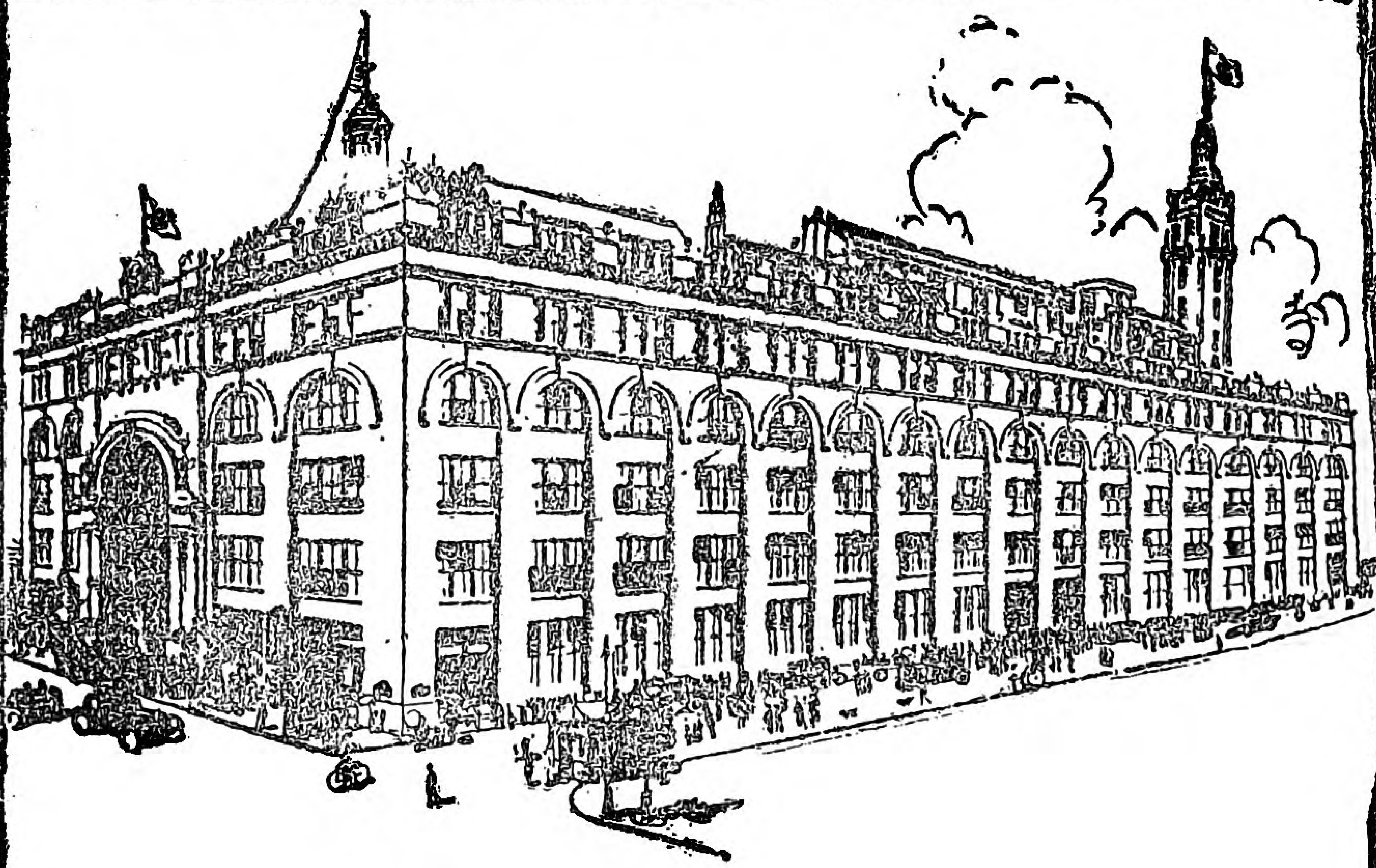
(TEC) 東京電氣株式會社

出張所販賣部
東京市京橋區銀座尾張町一ノ一 電話銀座〈長一三七一・一三七〇 一三七二・
大阪市西區阿波堀通一ノ五 電話新町〈長六三〇・八九八 長八九九・
門司市西本町三ノ二九 電話長 四六・六八二

此雜誌名及び商品名御報の方へは説明書謹呈

D-21

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へ乞ふ○



學校の始まり

増築して大きくなりました三越呉服店は、みな様が暑中休暇を終へて學校の始まるに必要な品を殘らず取揃へ、御待ち申して居ります

鉛筆、手帳、ノートブック、雜誌、お伽噺、玩具等は四階にあります、袴、鞄、靴、エプロン、靴下、帽子等は三階にあります、殊に小兒洋服は新型が澤山新着して居ります

東京

三越呉服店

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

御料
御園白粉

畏くも御料に召させ給ふ御園白粉及御園化粧品は最新の科學と容易に得難き經驗に依り、原料と芳香を精選し衛生と美容の目的に適ふ配合を以て謹製したる眞に本邦唯一の理想的優良化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば衛生上有效無害にして然もノリよくノビよく濃淡自在に美しく着き、決して斑を生せず、化粧榮の美しく且高品なる事他に其比を見ざる模範品なり。

ねり製　御園白粉
水白粉　御園の月
淡化粧用　御園水白粉
粉白粉　御園の花
打白粉　御園撫子
懐中用　御園紙白粉
濃厚化粧水　御園四季の花
白色化粧水　御園白露
化粧水　御園の露
濃化粧用白粉下　御園の蕾
洋風化粧料　御園クレーム
花精　御園香精
化粧香水　御園の橘
頭髪香油　御園香油
粉製歯磨　御園歯磨
日焦防止化粧料　御園ルチゲン

本舖　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年八月二十七日印刷納本
大正十年[illegible]發行
一部定價　金十八錢
處女會中央部
東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN